

改正

平成18年5月22日規則第154号  
平成19年3月29日規則第7号  
平成20年5月21日規則第26号  
平成20年7月30日規則第32号  
平成22年7月1日規則第18号  
平成23年3月7日規則第6号  
平成23年3月10日規則第10号  
平成24年1月12日規則第1号  
平成24年3月8日規則第4号

合志市ふるさと創生基金条例施行規則

(趣旨)

**第1条** この規則は、合志市ふるさと創生基金条例（平成18年合志市条例第61号）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(運用の範囲)

**第2条** 基金の運用は、次に掲げる事業に参加するものの経費の一部の補助に充てるものとする。

- (1) 地域活性化、教育、福祉又は産業の振興のため、市民が行う自主調査研究又は研修事業
- (2) スポーツ、文化、教育その他の大会に出場したもので、市長が適当と認める別表に掲げる事業
- (3) その他市長が必要と認める事業

(補助の対象)

**第3条** 前条の補助の対象は、市内に住所を有する者及びその者で構成された団体とする。ただし、市税等の滞納のある世帯の者、及び市から補助を受けている団体は除くものとする。

- 2 合志市部活動各種大会等出場補助金交付要綱（合志市教委告示第4号）第2条に規定する補助金の交付対象となるものは、本規則の補助対象から除くものとする。

(審議会)

**第4条** 市長は、第2条第1項第1号及び第3号の申請があった場合、当該補助金交付の可否及び補助金の額について、合志市総合政策審議会（以下「審議会」という。）に諮問するものとする。

- 2 審議会への諮問は、審議会開催日に合わせるものとし、毎年度最後の審議会開催後、申請のあったものについては、翌年度の審議会に諮問することができるものとする。

(補助対象経費)

**第5条** 第2条第1項第1号及び第3号に定める補助事業の対象経費は、次に掲げる経費のうち自己負担に係るものとする。

- (1) 報償費 謝礼金、賞与及び賞金等
- (2) 旅費 交通費（鉄道賃、船賃、航空賃、車賃等）及び宿泊料等
- (3) 需用費 消耗品費、燃料費、印刷製本費及び光熱水費等
- (4) 役務費 通信運搬費及び広告料等
- (5) 使用料及び賃借料 有料道路通行料、駐車料及び借上料等
- (6) 原材料費 物品を生産するための原料及び材料に要する経費等

(7) その他市長が特に必要と認める経費

2 旅費は、原則として最も経済的な通常の経路及び方法により旅行した場合の旅費により計算する。

3 宿泊料は、原則として実費とし、1泊につき1人定額10,900円を上限とする。

4 第1項に該当する経費であっても、ふるさと創生を達成する趣旨に合わないものについては、補助の対象としないものとする。

(補助率等)

**第6条** 補助金の額は、予算の範囲内において、次に定めるところによる。

(1) 第2条第1項第1号に該当する事業については、対象経費の2分の1以内の額とし、かつ、研修については、1人10万円以内の額とする。

(2) 第2条第1項第2号に該当する事業については、別表に掲げる額とする。

(3) 第2条第1項第3号に該当する事業については、対象経費の2分の1から10分の10以内の額とし、かつ、研修については、1人10万円以内の額とする。

(補助金交付申請)

**第7条** 補助金の交付を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、補助金交付申請書（様式第1号又は様式第2号）に、次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。ただし、高校生以下については、保護者が申請するものとする。

(1) 第2条第1項第1号及び第3号の場合 事業計画書、研修等に係る経費の明細書及び参加予定者名簿（参加予定者が複数の場合）

(2) 第2条第1項第2号の場合 大会等に参加したことが確認できる書類

(3) その他市長が必要と認める書類

2 第2条第1項第1号及び第3号に該当する事業の申請者は、事業実施日までに申請しなければならない。

3 第2条第1項第2号に該当する事業の申請者は、事業終了後、事業終了年度内に申請しなければならない。ただし、事業終了が3月にかかるものについては、事業終了後、1月以内に申請することができるものとする。

4 第2条第1項第2号に該当する事業で、同一補助対象者への同一年度内の補助金交付回数は2回を上限とする。ただし、事業開催年度末の年齢が満20歳以下の補助対象者及び海外で開催される事業はこの限りではない。

5 第2条第1項第1号及び第3号に該当する事業で、過去に当該基金からの補助金を受けた事業（同じ目的の事業を含む。）について、同一申請者からの再度の申込みは、当該補助を受けた事業実施年度から5年間はできないものとする。

(研修報告書の提出)

**第8条** 申請者は、研修事業等を終了したときは、次の書類を添えた研修報告書（様式第3号）を市長に提出しなければならない。ただし、第2条第1項第2号の事業は、除くものとする。

(1) 参加者名簿（参加者が複数の場合）

(2) 研修等成果報告書（様式第4号）

(3) 研修等に係る支出費用の明細書

(4) その他市長が必要と認める書類

(補助金の交付決定)

**第9条** 市長は、前条の研修報告書を受理した後、審議会の答申を受け補助金交付の可否を決定し、補助金交付決定通知書（様式第5号）をもって申請者に通知するものとする。

(補助金の交付)

**第10条** 市長は、前条の規定により補助金の交付を決定したときは、申請者に対し、速やかに補助金を交付するものとする。

(補助金交付の決定の取消し及び変更)

**第11条** 市長は、補助金の交付を受けた者（以下「交付決定者」という。）が、虚偽の申請又は不当な手段により補助金の交付を受け、又は受けようとしたことが判明したときは、補助金の交付決定を取り消し、又は変更することができるものとする。

2 市長は、前項の規定により補助金の交付を取り消し、又は変更したときは、補助金交付決定取消し（変更）通知書（様式第6号）により、交付決定者に通知するものとする。

(補助金の返還)

**第12条** 市長は、前条の規定により、補助金交付決定を取り消し、又は変更した場合において、既に補助金が交付されているときは、期限を定めて補助金の全部又は一部の返還を命ずるものとする。

(疑義の解決)

**第13条** 補助金の決定等に関する事務に疑義の生じたときは、審議会に諮り決定するものとする。

(事務の所管)

**第14条** この基金の施行に関する事務は、政策部企画課において処理する。

(その他)

**第15条** この規則の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

#### 附 則

この規則は、平成18年2月27日から施行する。

附 則（平成18年規則第154号）

この規則は、公布の日からから施行し、平成18年5月8日から適用する。

附 則（平成19年規則第7号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年規則第26号）

この規則は、平成20年5月21日から施行する。

附 則（平成20年規則第32号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成22年規則第18号）

この規則は、平成22年7月1日から施行する。

附 則（平成23年3月7日規則第6号）

この規則は、公布の日から施行し、平成23年2月8日から適用する。

附 則（平成23年3月10日規則第10号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年1月12日規則第1号）

この規則は、平成24年1月12日から施行する。

附 則（平成24年3月8日規則第4号）

この規則は、平成24年3月8日から施行する。

#### 別表（第2条関係）

事業	開催地	補助対象者	補助金の額
熊本県以外の都道府県において	九州（沖縄県内）	個人	5千円

開催されるスポーツ、文化、教育その他の大会に出場した者で、市長が適当と認めるもの	を除く。)		
	上記を除く国内	個人	1万円
	海外	個人	2万円

\* 補助対象者は、下記の条件に該当する者とする。

- ① 県又は地域の予選会に出場し、上位大会出場の権利を得た者とする。
- ② 高等学校・大学連盟、県レベル以上の協会の推薦を受けた者とする。





29口馬発第658号  
平成29年11月21日

吉永 一篤 殿

公益社団法人日本馬術連盟  
会長 千 玄 幸



平成29年度総合馬術海外強化合宿（オランダ）に係る派遣について

標記の件について、貴方を下記のとおり選手として派遣することとしましたので通知いたします。  
また、帰国後、平成29年12月27日（水）までに、本派遣事業の参加報告書の提出をお願いいたします。

記

1. 派遣期間 平成29年12月13日（水）～12月19日（火）
2. 派遣場所 オランダ・フォールスコーテン（ペン・オベール厩舎）
3. 派遣選手団
 

監督	小川 登美夫
	JOC強化スタッフ／総合馬術副本部長
コーチ	土屋 毅明
	JOC強化スタッフ
選手	中村 幸喜（明治大学）
	渡邊 瑞生（日本大学）
	吉永 弥以（明治大学）
	吉永 一篤（日本大学）
4. 負担金 10万円（納入期限：12月6日（水））
5. 振込先 三菱東京UFJ銀行 本店  
普通 1447629  
公益社団法人 日本馬術連盟
6. その他
  - ・ 次の経費については自己負担とする。  
①最寄空港までの国内移動費 ②超過手荷物料金等の個人的な経費
  - ・ 参加した感想を参加報告書として提出（書式自由・400文字以上）  
提出先／E-mail : nakaflma@equitation-japan.com  
FAX : 03-3297-5617

This passport is valid for all countries and areas unless otherwise endorsed.

## 平成 29 年度総合馬術ジュニア海外合宿実施要項

事業の趣旨	国内で活動する総合馬術競技のジュニア選手のうち、年齢が 16 歳以上 22 歳以下の選手を対象として海外合宿を実施する。馬術競技が盛んに開催され世界のトップ選手が活動する欧州に派遣して、ジュニアからシニアへスムーズな移行が図れるようオリンピックを経験した指導者の下で訓練を行い、次世代の総合馬術分野を担う選手の育成を行う。
目的	若手選手が、馬術の本場である欧州で訓練を行うことにより、日本では体験できない本格的な野外コース走行を行い、日常の活動における自身の課題の発見に繋げると共に、海外において研修することで視野を広げ社会生活の基礎を学ぶことを目的とする。
事業名称	JOC 選手強化活動事業 選手強化活動 総合馬術ジュニア海外合宿
派遣期間	平成 29 年 12 月 13 日（水）～19 日（火）
派遣先	オランダ フォールコーテン ペン・オベール厩舎
選手選考基準	本年 5 月に開催した全日本ヤング総合馬術大会ヤングライダー選手権の上位 4 名を派遣する。事情により参加できない場合は、順次繰り上げて適性を考慮して選考し決定する。
指導者	監督 小川登美夫（総合馬術本部副本部長/JOC 強化スタッフ） コーチ 土屋毅明（JOC 強化スタッフ/アトランタ・シドニー五輪代表）
選手負担金	100,000 円
派遣経費	この事業は、JOC 日本オリンピック委員会の選手強化活動事業の補助金と選手の負担金、本連盟の自己資金により実施する。 補助金は、選手一人あたりの渡航費 128,790 円、ホテル代 598 ユーロ（80,730 円相当）、借馬料 1,635 ユーロ（220,725 円相当）の計 430,245 円。役員 2 名の渡航費、ホテル代、謝金 1 日 10,000 円（5 日間）が対象で 80%が補助金から充当、対象経費の 20%と対象外経費は選手負担金と当連盟の自主財源から充当する。

## 平成 29 年度総合馬術ジュニア海外合宿参加計画書

平成 29 年度総合馬術ジュニア海外合宿参加にあたり、下記の通り計画書並びに抱負を記述致します

- ① 今回の合宿は、22 歳未満のジュニアナショナルチームに選考された 4 名及び監督、コーチと共にオランダ ペン・オベール厩舎にて、元オリンピック選手の指導を受け国際大会への出場を目指し、後のオリンピック選手となれるよう派遣される
- ② 昨年のインカレ個人優勝以来、今年度は、インカレ個人 3 種目において上位入賞、全日本総合馬術ヤング選手権競技においても上位入賞という結果が、ナショナルチームのジュニアメンバーに選考される結果となった
- ③ 熊本県立菊池農業高等学校馬術部を卒業して、現在に至るが、後に続く熊本の高校生にもチャンスがあることを示せた
- ④ 海外で研修することで世界レベルの経験が出来、さらなるステップアップが見込める
- ⑤ 今回の費用の多くは JOC のオリンピック委員会選手強化事業であり、2020 東京だけでなくそれ以降のオリンピックを見据えた事業であり、その期待に応えるように研鑽を積みたい
- ⑥ 馬術競技のオリンピック選手は、30 才を超えているのが普通であり、20 歳の私として今回の研修は、今後に大いに役立つと思われる
- ⑦ 研修では、馬場馬術、クロスカントリー、スタジアムジャンプとそれぞれの種目を、細かく指導して頂き、欠点及び不足部分の修正をしていく。また、海外でのトレーニングということで視野を広げ自身の成長につなげたい
- ⑧ 馬術競技では、合志市出身の活躍している選手は少なく、オリンピック選手はいないので、その第 1 号となれるようにしたい。また、そうすることで、県内の高校馬術が今以上に盛んになり、馬術部のある農業高校や実業高校への進学が増える一因にしたい
- ⑨ 研修に参加し力をつけ、全日本で活躍することで、「合志」の名前が大きく広がるようにしたい

以上

合志市野々島 3099 吉永 一篤

## 総合馬術ヤングライダーオランダ研修 報告

日時

往路 12月13日 11時30分 J L043 便羽田発 15時10分 ロンドン ヒースロー着  
17時45分 B A442 便ロンドン ヒースロー発 20時10分 オランダ アムステルダム着  
復路 12月18日 16時05分 J L7102 便アムステルダム発 16時25分 ヒースロー着  
J L044 便 19時00分 ヒースロー発 15時55分 羽田着 (19日)

宿泊先: ホリデイ・イン・ライデン Holiday Inn Leiden

Haagse Schouwweg.10 Leiden .2332KG.the Netherlands

+31 71 535 5555

研修先: 12月14日～17日

ペン・オペール厩舎 NieuweWeg 6.2253NB te Voorshoten.the Netherlands

+31 62 311 9668

引率者 小川 登美夫 090 8454 8974

主催者 日本馬術連盟 03 3294 5614 (担当: 中嶋)

### 研修内容

一日3頭の馬に騎乗し基本的なフラットワーク及び種目ごとの練習を行った

フラットワーク

馬体の真直性や頭頸の位置及び高さ。後肢の踏み込み、障害飛越前の基本的トレーニングについて学んだ

馬場馬術

図形、ポイントの取り方。歩様の返還の注意点、体制、バランスについて学び、競技会形式での研修を行った

障害飛越・野外騎乗

障害前の体制。アタック時の体制。スタジアムとクロスカントリーでの体制の違い  
基本的なトレーニングの確認等多くを学んだ

### 総括

今回のオランダ研修では、自身初の海外でもあり緊張と感動の研修でありました

特に、オランダを含むヨーロッパは馬術の最先端であり自然豊かな中に、素晴らしいトレーニング施設、トレーナー、馬。どれを見ても日本との違いを感じました

研修では、季節が冬ということもあり、シーズンオフのため激しい運動は避けられ、基本的な運動の繰り返しでした

言い換えれば、オフ期間の基礎トレーニングの重要性を再確認出来ました

また、近くに海岸があり、騎乗して楽しむことができ、人馬共にリラックス環境に感動しました

今後は、今回の経験を活かし全日本、インカレ等で活躍できるように研鑽を積みたいと思います

また、1月には、学生選抜のオーストラリア合宿及び、3月の国際大会（オーストラリア）が控えており、今回の研修と合わせ精進したいと思います

その成果を活かし、全日本やインカレ等で全力を出し切り活躍し、後々には、オリンピックを狙える選手となることで、合志市の子ども達が、馬術を志してくれるよう、また、合志の名を高められるように今後も頑張りたいと思います

平成 28 年度 全日本学生障害飛越競技 個人・団体優勝

平成 29 年度 全日本総合ヤングライダー選手権 4 位

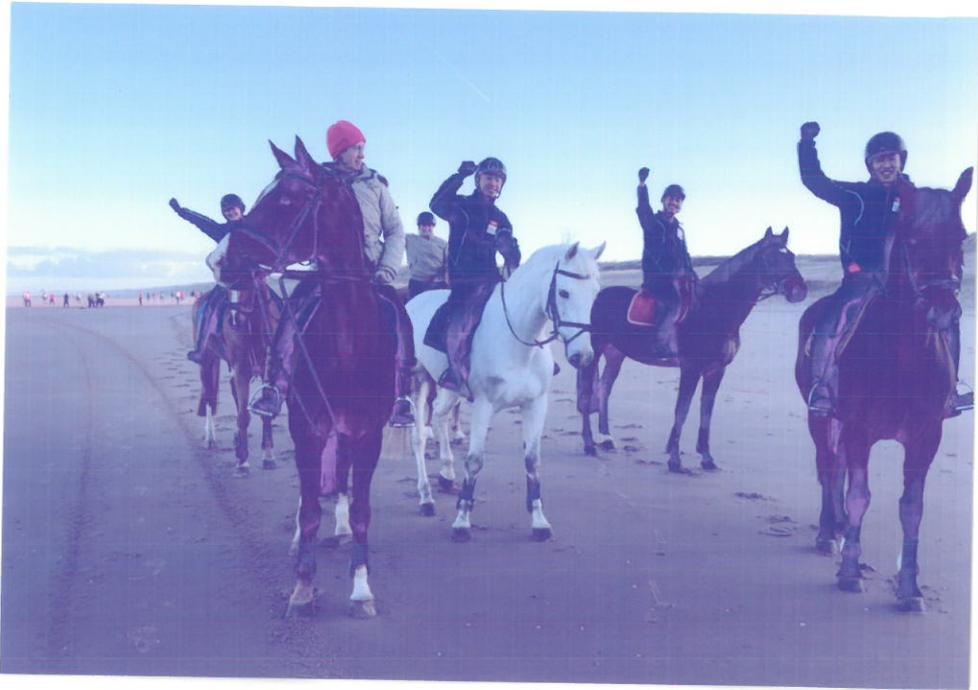
全日本学生障害飛越競技 個人 7 位・団体準優勝

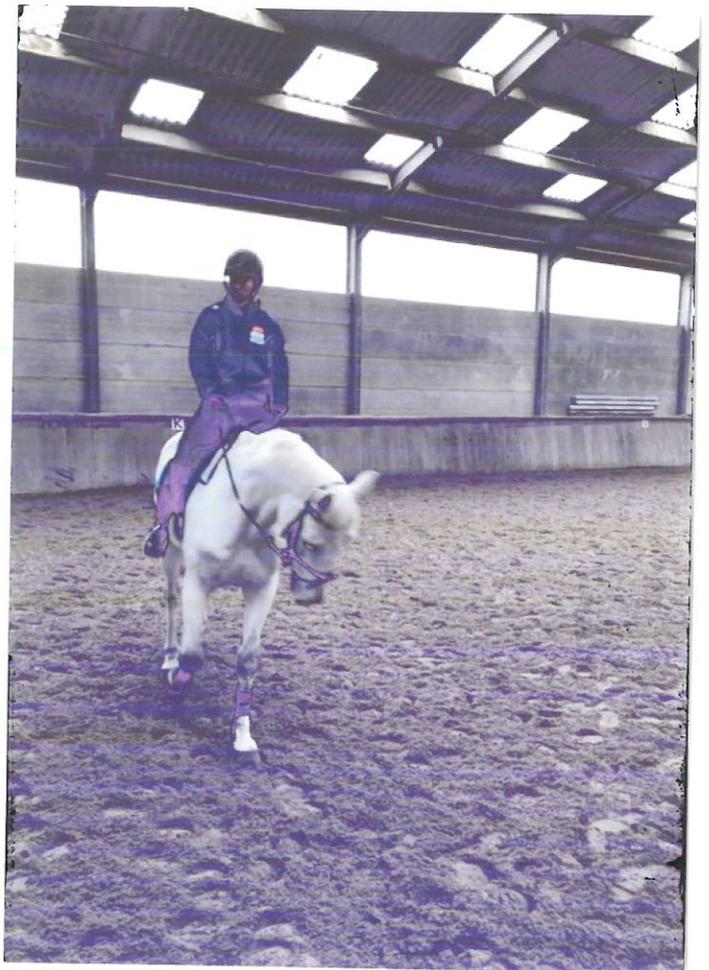
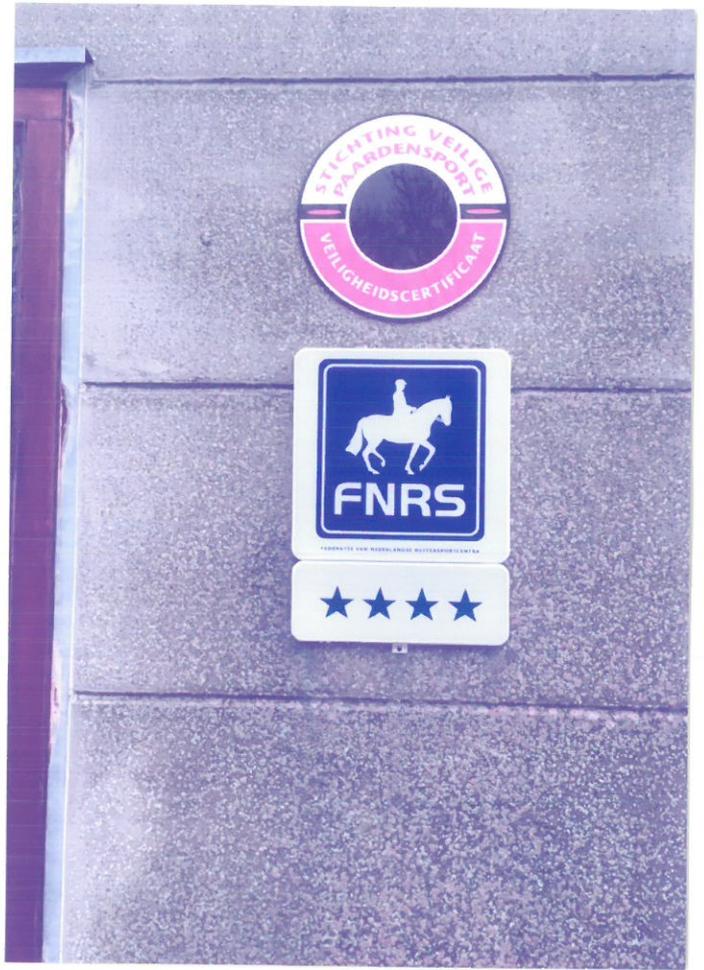
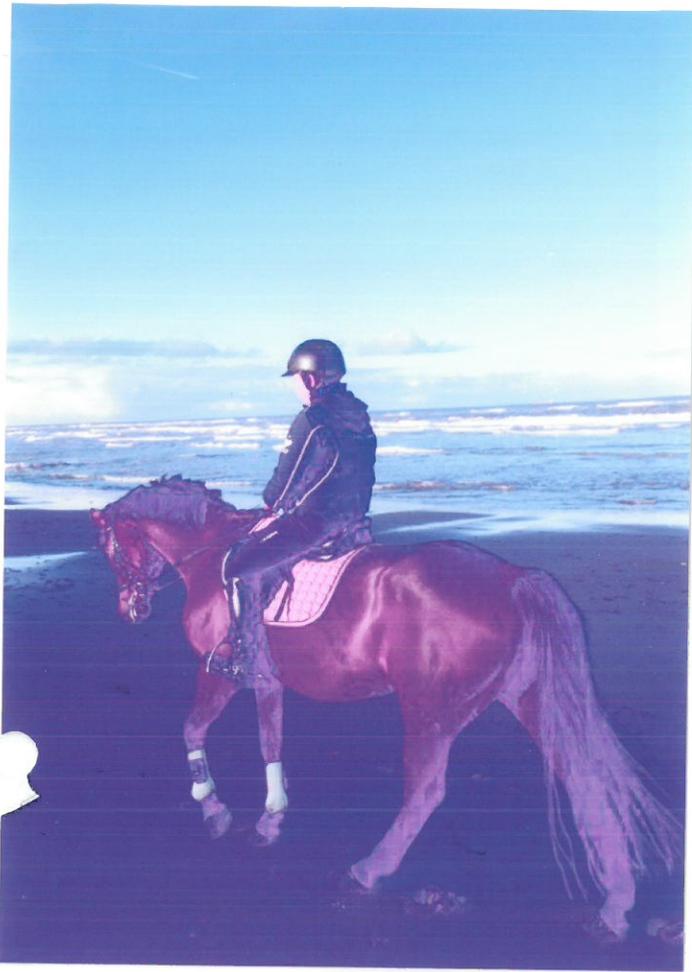
全日本学生総合馬術競技 個人 5 位・団体優勝

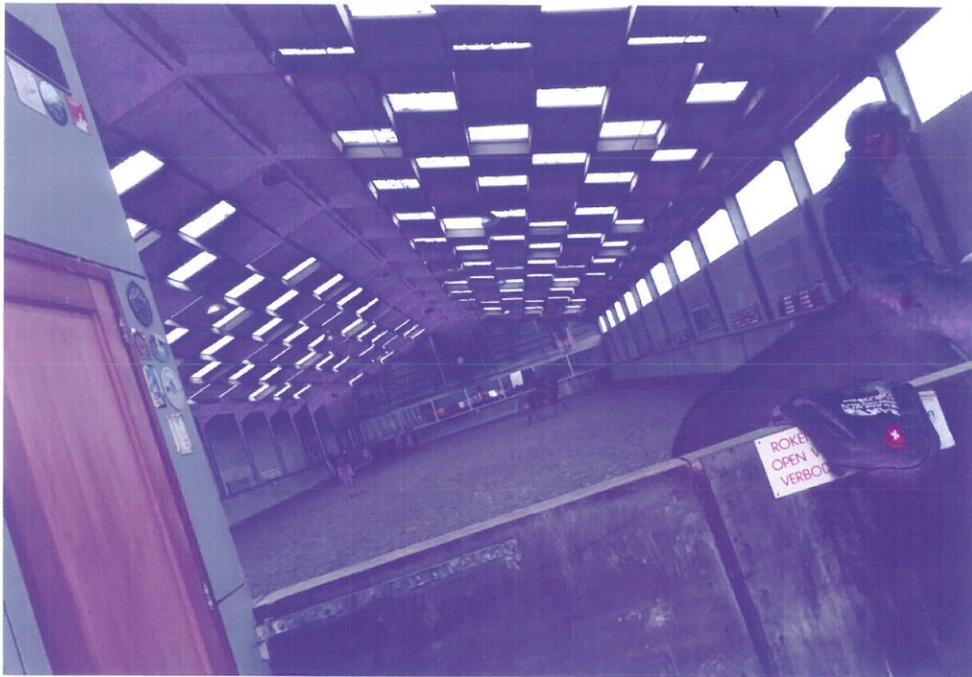
全日本学生個人選手権 4 位

合志市野々島 3099

吉永 一篤







### 補助内容 個別表

申請者氏名	<small>ヨシナガ カズマ</small> 吉永 一篤	受付番号	—		
住 所・電話番号		補助該当	第 2 条 第 1 号		
研 修 名	平成29年度総合馬術海外強化合宿(オランダ)				
期 日	平成29年12月13日～19日				
場 所	オランダ フォールコーテン ペン・オーベル厩舎				
内 容	16歳～22歳の馬術競技選手を対象とした海外強化合宿。オリンピック経験者のもとで訓練を行い、次世代の選手育成に繋げるためのもの。				
研修費用	費 目	備 考	経 費	うち補助対象経費	うち自己負担額
	旅費	渡航費、ホテル代	209,520	209,520	100,000
	使用料及び賃借料	借馬代	220,725	220,725	
	計		430,245円	430,245円	100,000円
補 助 率	合志市ふるさと創生基金条例施行規則第6条第1号 対象経費の2分の1以内の額とし、且つ研修については、1人10万円以内の額とする。				
補助額の計算	100,000円/2=50,000円			補助金額	50,000円
備 考					



**24 février  
> 4 mars**  
PARIS EXPO PORTE DE VERSAILLES

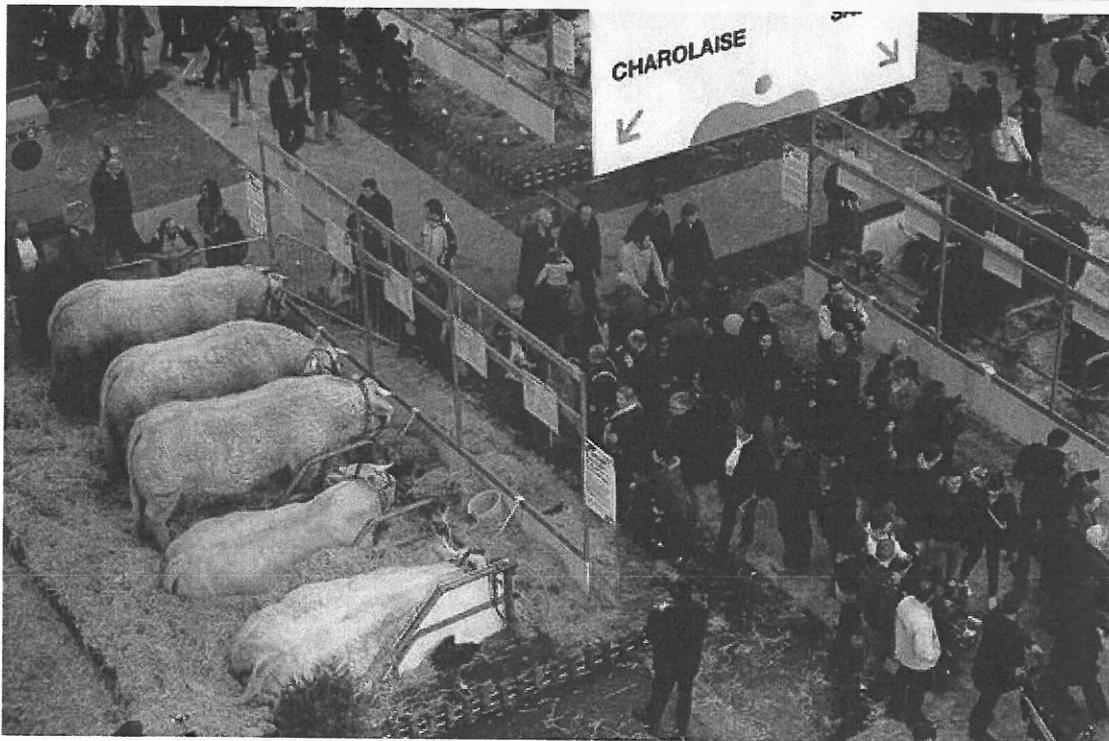
salon  
international  
DE  
l'agri  
culture

#HAUTE, 6 ans  
vache de race Aubrac

[www.salon-agriculture.com](http://www.salon-agriculture.com)  
#SIA2018

GENECA  
COMEXPOSIUM  
AGRICULTURE  
App Store  
Google Play

The advertisement features a grid of 12 icons representing various agricultural products: a horse head, a wine bottle, a cow head, a fish, a pig, a sheep, a flower, a house, and a bunch of grapes.



◆農業大国・フランス、パリ「国際農業見本市(SIA) 2018」

**Salon International de l'Agriculture 2018**

= 2018年2月24日 ~ 3月4日 : 09:00~19:00 =

会場：ポルト・ド・ヴェルサイユ見本市会場 Porte de Versailles

例年多くの入場者を集め、特産品目当ての買い物客から政府高官までが詰めかけるフランスの国家的イベント農業見本市が2017年も開催されます。

フランスは食糧自給率100%を超える世界に名だたる農業大国。この農業見本市を訪ればそのことがまざまざと実感されるでしょう。

## 平成29年度『九州-フランス食品ビジネスミッション』参加者の募集

九州地域バイオクラスター推進協議会では、平成22年から九州とフランスとの食品分野における産業協力を進めるためMOU締結を行い、その協力の下、セミナーの開催やプロジェクトの推進など数々の事業を行ってまいりました。

こうした交流を受け、本年度、協議会では訪仏商談ミッションを2月に開催することとなりました。

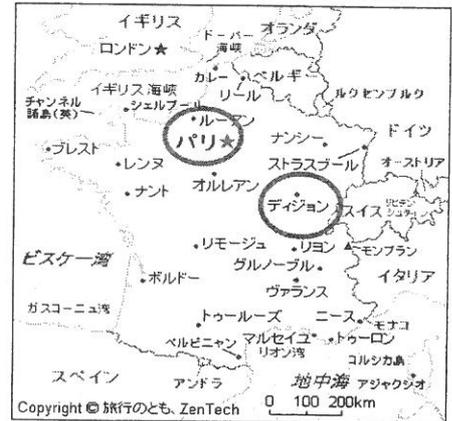
商談においては、多様化するニーズに対応し、効果的なマッチングを行うため、両クラスターによる事前調整により、双方の企業特性に適合した、適切な商談相手企業を選定します。

また、クラスター間交流を活用した商談だけでなく、パリにおいて既に日本食品を取り扱っている企業との商談やパリ農業国際見本市の視察など様々な内容を予定しています。ぜひこの機会に海外展開に関心のある企業のご参加をお待ちしております。

**【主催】九州地域バイオクラスター推進協議会（事務局：公益財団法人くまもと産業支援財団）**

### 【基本行程（予定）】

日程	内容
2月25日（日）	福岡発-羽田着/発-パリ着
2月26日（月） 【ディジョン】	パリからディジョンへ移動（TGV 利用） ○ヴィタゴラクラスターからの概要説明 ○マッチング企業の最終調整等
2月27日（火） 【ディジョン】	○ヴィタゴラクラスター商談会 ・事前マッチング制の個別面談方式で行います。 ・協議会企業1社につき、現地企業2社以上の商談を予定しています。 ・商談時間は、現地企業1社との商談1回あたり1時間を予定しています。（通訳含む） ・商談スケジュール、商談先は双方の企業のマッチングに関する希望を勘案し、協議会が事前に調整します。 ディジョンからパリへ移動（TGV 利用）
2月28日（水） 【パリ】	○ジェトロパリとのミーティング ○パリ商談会 ・既に日本食品を幅広く取り扱っている企業（日本語対応可能）を訪問し、商談を行います。 ・現地企業2～3社への訪問商談を予定しています。 ・商談時間は、現地企業1社との商談1回あたり30分を予定しています。
3月1日（木）	パリ発-羽田着/発-福岡、熊本着（日本時間2日（金））、着後解散



続けて、農業大国フランスが国を挙げて開催する「パリ農業国際見本市」の視察のほか、オメガ3に関する関係者との面談などを予定しています。興味のある方はご参加ください。

2月28日（水）	福岡発-羽田着/発-パリ着（パリ農業国際見本市のみ参加の場合）
3月1日（木） ～2日（金） 【パリ】	・パリ農業国際見本市視察 ・オメガ3に関する情報交換、取組み事業者との面談等
3月3日（土）	パリ発-羽田着/発-福岡、熊本着（日本時間4日（日））、着後解散

**【応募締切】平成30年1月9日（火）までに、裏面の申込書に御記入のうえお申し込み下さい。**

**【参加費】2月25日（日）～3月2日（金）：25万円程度（詳細が確定次第、参加者へ直接御連絡致します。）**

※2月25日（日）～3月4日（日）：30万円程度（同上）

※※日程については都合により変更する場合があります。また、この参加費用には航空運賃及び宿泊、高速鉄道料金等が含まれていますが、別途費用が発生する可能性もあります。なお、為替レート等により多少変動する場合がありますことを予めご了承下さい。

### 【問い合わせ先】

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原 2081-10（公財）くまもと産業支援財団内  
九州地域バイオクラスター推進協議会（担当）村山、吉村  
（TEL）096-289-3116（FAX）096-286-3929（E-mail）[info@kyushu-bio.jp](mailto:info@kyushu-bio.jp)（URL）<http://www.kyushu-bio.jp>

## フランスミッション参加者リスト

	所属	部署・役職	氏名
1	有限会社 五木屋本舗	事業戦略部・推進課課長	尾崎 宏敏
2	株式会社 菊池食品	代表取締役	菊池 秀一
3			菊池 志帆
4	三和酒類株式会社	食品事業部・取締役統括部長	和田 正太郎
5	ホシサン株式会社	営業部課長	棚橋 智幸
6	恵濃畜産株式会社	代表取締役	恵濃 崇宏
7	株式会社オオヤブデイリーファーム	代表取締役	大藪 裕介
8			大藪 沙紀
9	株式会社 緒方エッグファーム	代表取締役	緒方克也
10		菓子製造部	田口 陽子
11			緒方 佑香
12	事務局	プロジェクトマネージャー	森下 惟一
13	事務局	バイオクラスター推進室室長	村山 智彦
14	農研機構		後藤 一寿
15	通訳		藤田 和子

### 3. フランスミッション団派遣 日程表

九州地域バイオクラスター推進協議会 フランス派遣団 旅程表(案)【フル】								
平成30年2月25日(日)～3月4日(日)								
日	便	日本時間	現地時間	スケジュール	主な行事	都市名		
						都市名	ホテル	
2/25 (日)	JL662	7:45		大分空港発	移動	大分		
	JL624	9:30		熊本空港発		熊本		
		11:00		羽田空港着、国際線ターミナルに移動		羽田		
	AF279	13:45		羽田空港国際線ターミナル発				
		18:35		パリ シャルドール空港(CDG)着				
	タクシーまたは地下鉄	20:00		地下鉄等			パリ	イビス・アレジア・モンパルナス
		20:40		ホテル着				
		9:30	ホテル発					
2/26 (月)	TGV	10:15		パリ・リヨン駅発	商談会最終準備	ディジョン	キリヤード・ディジョン・ガール	
		11:53		ディジョン駅着				
	午後		ヴィタゴラ全体会、商談会最終準備調整					
	17:30		夕食会					
		20:30		ホテル着				
2/27 (火)	地下鉄	8:00		ホテル発	ヴィタゴラ商談会	パリ	イビス・アレジア・モンパルナス	
		8:30		ヴィタゴラ商談会会場着				
		9:00		商談会開始				
		17:00		商談会終了				
	地下鉄	18:00		ディジョン駅に移動				
	TGV	19:00		ディジョン駅発				
		20:37		パリ・リヨン駅到着				
		21:00		ホテル着				
2/28 (水)	バス	9:00		ホテル発	パリ商談会	パリ	イビス・アレジア・モンパルナス	
		10:00		UMAMI商談				
		12:00		昼食				
		14:00		ジェットロバリブリーフィング開始				
		15:00		ジェットロバリブリーフィング終了				
		15:30		KIOKO商談				
		19:00		ホテル着				
3/1 (木)		8:00		ホテル発	BBC協議、アグリショー	パリ	イビス・アレジア・モンパルナス	
		8:50		アグリショー会場着				
		10:00		BBC面談				
		12:00		昼食				
		13:30		BBCと協議等				
		19:00		ホテル着				
3/2 (金)		8:00		ホテル発	アグリショー	パリ	イビス・アレジア・モンパルナス	
		8:50		アグリショー会場着				
		10:00		面談				
		12:00		昼食				
		13:30		面談				
		19:00		ホテル着				
3/3 (土)		9:00		ホテル発	パリ市内・レストラン訪問			
		13:00		空港(CDG)着				
		AF272	16:05					パリCDG発
			12:05					羽田空港着
3/4 (日)	JL633	14:40		羽田空港発(大分空港行)		羽田	機内泊	
		14:50		羽田空港発(熊本空港行)				
		16:20		大分空港着				
		16:40		熊本空港着				

## 平成29年度「九州—フランス食品ビジネスミッション」研修事業計画書

緒方 克也

### 1.研修の目的

8年前よりフランスの畜産に学び交流を深めながら、合志市の畜産事業の発展のため「オメガ3プロジェクト」に取り組んできた。合志市を始め各機関の支援もいただきながら少しずつ認知もされてきている。今回参加する「パリ農業国際見本市」は、フランスが国を挙げて開催する見本市で、牛、鶏、豚、馬などの家畜が国内外から4000頭以上集まり、その品質を競い、チーズやバター、ハムなどの加工食品もそれぞれのカテゴリーで審査が行われる。フランスで数百年以上続くと言われているこの見本市から、畜産技術やテクノロジー、ブランディングやPRの手法など多くの物を学びたい。そして、自社はもちろん合志市の畜産物、農産物のブランドの強化に役立てていきたいと考えている。また、合志市の畜産事業者3社も一緒に取り組んでいる「オメガ3プロジェクト」関係の生産者等との面談もあるので、現状の課題解決ができれば、今後合志市のブランド品として確立していきたいと考えている。

### 2.研修の内容

農業大国フランスが国を挙げて開催する「パリ農業国際見本市」の視察のほか、オメガ3に関する関係者との面談

### 3.研修日程

- 2月28日（水） 熊本→羽田 羽田→パリ
- 3月 1日（木） パリ農業国際見本市
- 3月 2日（金） パリ農業国際見本市、オメガ3に関する面談
- 3月 3日（土） パリ→羽田 羽田→熊本 （日本時間 3月4日（日）着）

30年3月10日

作成者	住所	電話
	氏名 緒方 克也	
研修の概要	<p>フランス国際見本市・ブルー・ブラン・クール（BBC）のブースにて          〈通訳・藤川様〉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>3/1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各生産者（牛肉・乳・レストランオーナー）との面談</li> <li>・ BBC 担当者（鶏卵）についての協議</li> <li>・ 鶏卵生産者との面談</li> </ul> <p>3/2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 牛肉生産・高級レストランオーナー</li> <li>・ 山間のバスク地方で牛・山羊を飼育協同組合でチーズ・バターを伝統的に生産している担当者</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>午後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶏、ウサギを中心にブースを見学</li> </ul>	



研修の成果

フランスは農業大国であり、畜産においても、オメガ3脂肪酸を多く含む亜麻を飼料として伝統的に使用するなど先進的な取り組みがなされている。さらに、それを「家畜の健康と人の健康」というコンセプトのもと、ブランド化しておりブルターニュ地方（畜産が盛んな地域）を中心にパリなどの大都市にも広まっている。その取り組みを行っているのが、ブルー・ブラン・クールで、数年前より交流を深めながらフランスの畜産に学び実践している。今まで何度もフランスを訪れ飼料や飼育方法、ブランディングの仕方を学び、養鶏場の見学、商品・加工品の製造現場の見学や意見交換をおこなってきた。また、ブルー・ブラン・クールの担当者も毎年、日本を訪れて生産者との意見交換をおこなっている。

今回のフランス訪問で訪れた「フランス農業国際見本市」では、日本の数倍あるパリの展示会場にて、主に畜産関係の各家畜（牛、鶏、羊など）を展示してあるなかで、加工品の催事販売、展示商談がおこなわれていた。会場内で多く目にしたのは、バックを背負った小学生が先生と見学している姿、親子で見学している姿などで、日本の展示会とは少し趣旨が異なるようであった。子どもや一般の大人が畜産・農業・食・伝統に親しみを持つような見本市であるように感じた。フランスのように日本でも、子どもの時から畜産や農業、食を身近に感じる場があり、仕事としての価値を理解してもらえる場があれば、大人になって職業選択にも大きく影響すると感じた。フランスは畜産や農業に伝統と文化があり、それを子どもを含め一般の消費者もしっかり理解している。そのことが、日常の食の意識を高め、生産する産地が伝統的に継続できているように感じた。

あなたは、今回の研究・研修の成果を、今後のまちづくりや自分の仕事に活かすことができますか。 思う ・ 思わない

※ 今後、この成果を町づくりや自分の仕事にどのように活かしていきたいと思えますか。

2日間の生産者・オーナー・BBCとの面談では、経営規模、現在までの経緯、商品及び販売先・集客・伝え方・市場価格などを中心に、それぞれのオーナーの思いや、今後の展開までを伺うことができた。私も含め合志市から同行した各生産者も熱心にメモを取っていた。日本とフランスの食文化は異なるところがあるが、農業・畜産に関しては、家畜を健康的に育ておいしいものを作り、いかにお客様に喜んでもらい、リピートしてもらえるかだ。今回のフランス訪問は7年前より始めた仕事での取組みの再確認と、フランスの各オーナーの考え、見本市でのフランス国民の食に対する意識の高さを感じることができた。

私ができることは、自分が住む地域の伝統と文化を、生産者として伝え継続していくことだと思う。フランスのような展示会はできなくても、今現在やっている、地域の学校の見学の受け入れや、学校への出張講座、県立農大の研修の受け入れなど、人に伝え、人を育てることで地域の畜産や農業を継続させていきたいと考えている。小さな取組みではあるが、私たち生産者が伝える場を持つことで、人との交流が生まれ、人のこころを豊かにし、地域が活性化すると思う。今回フランスの農業博覧会を見て、フランスの生産者の方々と交流する中で、今までの取組みに誇りを持ち継続的に取り組んでいき、地域の農業に貢献していきたいと強く思った。

## 平成29年度「九州—フランス食品ビジネスミッション」研修事業計画書

緒方 佑香

### 1.研修の目的

私は今東京の国際基督教大学（ICU）に通っています。ICUは入学時、学部学科が無く、学んでいく中で自分の興味関心の高いこと将来やりたいことを見つけていきます。私は1年生なので、まだ具体的には決めていないのですが、アジアの国々の子どもたち、特に貧しい生活を強いられている子どもたちの支援に興味があります。父より「日本の養鶏の技術を海外で指導して高品質のたまごが現地で生産できれば、雇用の拡大や収入の安定につながるかもしれない。」という話を聞き大変興味を持ちました。私の家は養鶏業をしていますが、合志市には酪農や農業など高品質のものを生産されている方がたくさんいます。具体的にどうしたらいいのかわかりませんが、そういう技術と発展途上国の子どもたちをつなげられないかと思うようになりました。家の仕事は手伝ったこともあり、少しは分かるのですが、畜産や農業についてほとんど知識がありません。「パリ農業国際見本市」ではあらゆる家畜や飼育技術、農業のテクノロジー、畜産物や加工品など一同に会すると聞き、畜産や農業の最先端を見たいと思いました。そして、自分の将来に役立てていき、社会に貢献できるような仕事をしたいと思っています。

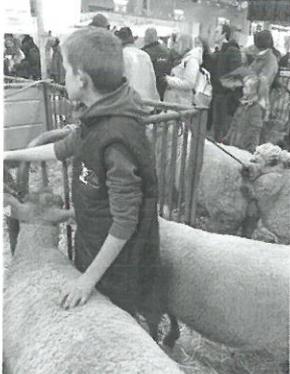
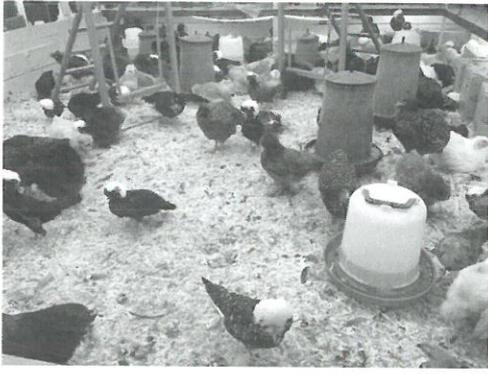
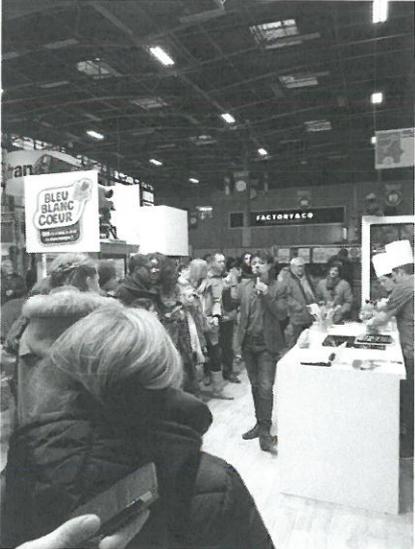
### 2.研修の内容

農業大国フランスが国を挙げて開催する「パリ農業国際見本市」の視察のほか、オメガ3に関する関係者との面談

### 3.研修日程

- 2月28日（水） 熊本→羽田 羽田→パリ
- 3月 1日（木） パリ農業国際見本市
- 3月 2日（金） パリ農業国際見本市、オメガ3に関する面談
- 3月 3日（土） パリ→羽田 羽田→熊本 （日本時間 3月4日（日）着）

30年3月10日

作成者	住所	電話
	氏名	
	緒方 佑香	
研修の概要	<p>2月28日（水）羽田→パリ</p> <p>3月1日（木）パリ農業国際見本市見学</p> <p>会場はとても広く、人も多かった。農業全般、畜産、加工食品、ワインなどコーナーごとに分かれていた。全部を見ることはできないので、畜産のエリアを中心に見て回った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>3月2日（金）パリ農業国際見本市見学及びフランスBBCとの面談</p> <p>前日見れなかったところを見て回った。食品エリアも見なかったがあまり時間が取れず残念だった。父たちが交流をしているフランスのブルー・ブラン・クール（BBC）との面談に参加させてもらった。家畜を健康に、ストレスなく育てることを日本以上に大切にしていると思った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>3月3日（土）パリ→羽田（日本時間3月4日（日）着）</p>	

研修の成果

会場に入ると、牛や羊、ヤギなどが展示されており、子どもたちがたくさん訪れていたことに驚きました。学校の学習の一環として、先生に引率されて見て回っている子どもたちも多かったです。フランスでは農業がこんなに身近なところにあることを知り、こういう場が日本にもあればいいなと思いました。面談では、フランスの畜産農家さんの話を直接聞くことができ、今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。まず、最初に、肉牛を育てておられる方の話を聞きました。オメガ3脂肪酸を含んだ、亜麻の種を混ぜた餌を牛に与えると、おいしいお肉になるそうです。その方は、大きく宣伝しなくても、おいしいからお客さんは、この肉を選んでくれるとおっしゃっていました。動物にストレスを与えず、おいしいものを生産するというブルー・ブラン・クールのお考えはとても素晴らしいと思いました。これを発展途上国の国でも実践できれば、農村の人々の安定した収入につながり、食糧や子どもたちの健康や教育などの様々な問題の解決にもつながるのではないかと、具体的に考えられるようになりました。今回農業大国であるフランスの国を挙げての農業展を見て、また、実際に生産者さんのお話を聞くことができ、畜産や農業の可能性を感じるすることができました。日本では仕事としてはマイナスイメージの多いのですが、日本の子どもたちや私たちのような若い世代が、もっと世界に目を向けて農業に興味関心を持てるようになってほしいと思いました。

あなたは、今回の研究・研修の成果を、今後のまちづくりや自分の仕事に活かすことができると思いますか。 思う ・ 思わない

※ 今後、この成果を町づくりや自分の仕事にどのように活かしていきたいと思いますか。

日本ではフランスのように農業が身近にあるとは思えません。展示会では、学校の見学できた子どもたちや、両親と一緒に来た子どもたちがたくさんいました。この動物たちは何を食べて、どの様に育てているのか、だれが育てているのか、そして、どの様なお肉になっていくのかなど、食について学ぶ場がありました。日本でもこのように、食について学ぶ場を増やすべきだと思いました。

合志市は農業が盛んな地域であるので展示会は無理でも何かの形で、子どもたちが地域の農業について学ぶ場があればいいなと思いました。この研修に参加して、まだまだ知らないことがたくさんあり、いろいろな仕事があることがわかりました。また、外国と日本のちがいを実感しました。これからもいろいろな国を訪れてそれぞれの国の畜産や農業について調べてみたいと思います。この研修での経験をこれからの大学での学びに、そして将来の仕事に活かしていきたいと思います。

# 事業計画書

平成 30 年 2 月 22 日

恵濃畜産株式会社

## ・ 目的

弊社では、九州地域バイオクラスター推進協議会に参加し、付加価値のある農産物の生産に取り組んでいます。

生産にあたり、付加価値をつける上で主要になる家畜飼料である“リノマックス”はフランス産亜麻仁を使用した商品であり、製造はフランス・バロレックス社です。

また、亜麻仁飼料を利用した農産物生産を先進的に行ってきたフランスのブルーブランクールは本協議会の主要な提携先であり、弊社の生産物を日本国内で付加価値を持った商品として展開する上で見本ともなります。

今回のミッションではそうした関係者との情報交換を行い、また日本国内において弊社が生産した牛肉をブルーブランクール認証の商品として展開するための協議を行います。

さらにはパリで開かれるアグリショーで、高付加価値の農産物がどのように販売展開されているかを視察します。付加価値に対する意識の高い消費者にどのようにアピールするかを学び、今後の国内展開に活かしたいと思います。

## ・ 内容 日程

2月28日	日本発
3月1日	フランス着、アグリショー会場にてブルーブランクールと面談・協議
3月2日	アグリショー視察
3月3日	パリ市内、市場・レストラン訪問、フランス発
3月4日	日本着

## K B C C フランス ミッション 報告書

恵濃畜産株式

恵濃 崇宏

先般のフランスミッションで現地の生産者や加工業者、シェフの方などと交流を持つことができました。九州地域バイオクラスター推進協議会と連携しているフランスのBBC協会や、その取り組みに参加しているメンバーとの面談が主な内容です。

通訳を介し生産や販売について現地の生産者の生の情報を直接聞けるのは大変良い機会であり、おおいに参考になりました。

### ・農業展を見て

フランスの農業展を見て最初に感じたことは農業と消費者との距離が近いことです。会場内には牛・豚・羊・山羊の生体が多く展示されており、品評会も多数開催されていました。来場は農業関係者だけでなく、学校からの団体での見学や一般の入場者も大変多く、移動が難しい時間帯もあるほどの入場者数でした。食品を調理する場の壁1枚隔て、3メートル横に牛の生体がいるのは日本ではありえない配置ですが、現地の人はその当たり前ようです。衛生基準を考えると日本で同じようにするわけにはいきませんが、食育が進めばこういった仕方でのディスプレイが国内でも可能だろうかと考えました。今後国内においての食育活動への生産者の協力などもより重要になると感じます。

### ・BBCブースでのミーティングにて

アマニ飼料を使用する生産者と意見を交わして多くの方が述べられたのが、家畜が健康になったという事です。もともと放牧や自家産牧草などの消費量が多い地域で、このような意見が第一に出てくるのは予想以上でした。加えて、家畜を大事にする生産者だからこそ変化に気づきやすい側面もあるかと思えます。

生産物に対する意識の持ちようも、成体・生乳を出荷したらそれまで、ではなく消費される際の品質までを考慮して生産している様子が見受けられます。消費者側も生産者から技術的な話が聞けるのを喜ぶとの意見もありました。地元のイベントや精肉店などに積極的に行き生産者自ら消費者に説明をする活動は、今後の日本で販売拡大を図るにあたり参考になります。

BBCの肉の利点として、変色しにくいことやドリップが出にくいという意見がありました。生体

の段階で、体に炎症があったり酸性に過剰に傾いていたり、ビタミンEなどが不足していると、変色やドリップといった問題が発生しやすくなります。そうした問題が少ないということは、生産の段階で家畜の状態が健康的であるなら、変色やドリップといった問題が抑えられるということの証左と言えるでしょう。枝肉の段階ではなく精肉になった段階というのは、現在当社の生産する牛肉では流通を最後まで追える状況ではないので、しっかりと確認するのが難しい状況です。ですから10年近くアマニ飼料を使用して生産されているフランスでの状況を知れたのは収穫でした。今後、自社の牛肉のサンプリングをするときにはこうした点にも着目して状態を確かめたいと思います。

肉用牛以外にも、繁殖・酪農・鶏卵・山羊などの話を聞くことができました。加工や調理の情報も多く、よい情報もそうではない情報も考慮に入れるべき内容でした。

#### ・まとめ

今回のミッションでは多くの情報を得ることができました。技術的なことのみならず生産に対する哲学や販売の心構えなど、新たに知る多くの情報は今後の活動に対してのモチベーションを上げるものとなりました。

現在当社では、BBCの基準をクリアする生産物はすでに完成していますが、販売経路の開拓という点ではなかなか展望が容易でない状況にあります。海外の生産者と交流し、生の声を聞く機会がこのタイミングで持てたのは予想以上の収穫でした。国の違いがありますので全く同じように日本国内で出来るわけではありませんが、今回のミッションは参考になる点は多く、他では無い商品をより印象的な仕方でアピールできるよう、精力的に活動する助けとなります。

こうした機会を捉えられたことと、行政がこの活動を支援していただけることを感謝いたします。

以下、先般のフランスミッションに関し、時系列と要点を記載します。

3月1日

5:30頃 ホテル着

8:30頃 会場着 Paris Expo Porte de Versailles (幕張メッセの3倍の面積)

ブルーブランクール (以下 BBC) のブースにてミーティング

9:15-

肉用牛生産者 ブランダキテン種

・BBCの生産する亜麻飼料のクオリティの高さはフランスでも評価されている

- ・家畜の健康に良く、医療衛生費の削減につながる
- ・肉質や、品質の保持について小売店側からの評価が高い
- ・消費者からは食感と味を評価されリピーターも多い
- ・経済性はコスト差し引きで通常とそう変わらないが、差別化されリピーターが多いのでライバルとの競合になりにくい
- ・生産者は保守的で新しい方法は普及しにくい
- ・イベントに出向く TVCM や店頭での動画などの販促

10:15-

酪農関係者 2 件 ヨーグルト等への加工販売も手掛ける

- ・乳牛が健康的になり医療費が削減できた
- ・味や栄養、家畜の健康などの付加価値により経済的に良い
- ・学校給食や公共機関の食堂などでも使われる
- ・加工品を増やし地元以外でも販売展開したい

14:15-

シェフ レストラン経営

- ・20年の営業 BBC は12年前から
- ・BBC は生產品の基準を厳しく保つ
- ・メニューに合わせてストーリーのある食材を使う
- ・調理時のドリップの量が違う 食感に差が出る
- ・脂質が良い
- ・アンバサダーとして BBC の普及を行なっている
- ・地域型のイベント 良い製品はシンプルなアピールで
- ・BBC の基準の製品（家畜）は健康 よって薬剤の使用も抑えられる
- ・公的な機関に認められ認識されることで、広く知られるようになる

15:15-

鶏卵生産者 23000羽 有機平飼い

- ・亜麻飼料に加え海藻飼料を使うことで栄養素の強化
- ・大手スーパーは鶏の健康にさほど興味がない
- ・週に18000個の輸出
- ・15週ごとにサルモネラ検査

夕方、会場から宿舎へ移動

晩は BBC 協会の方々とパリ市内で会食

3月2日

9:00頃 会場入り

9:50-

繁殖一貫肥育生産者 レストランオーナー 地域の屠場の運営にも携わる  
母牛 90頭 オーブブラック種 週に 19頭の出荷量

- ・亜麻飼料で繁殖成績が上がった
- ・蹄病や乳房炎が減り、抗生剤の使用が3分の1に減った
- ・週に12頭分をレストランで使用 部位はロイン系やモモ
- ・前駆部分はミンチとして加工 近日中に高級ハンバーガー店を出店予定
- ・アリゴ（フランスの一地方の伝統料理、ポテトとチーズ主体）を売りにしている
- ・オーブラック（原種に近い牛）とアリゴのチェーン店を展開したい
- ・オーブラックは高級スーパーでも展開している
- ・自然交配や高地での放牧が売り
- ・シャンデリゼ通りは24時間人がいる立地 店も週4日24時間営業 46人のスタッフ

11:05-

バス地方の牛乳関係の責任者

酪農 80件の代表のうち20件がBBCに参加

400万リットル/年のうち60件がヤギのミルク 200万リットル/年

- ・オメガ3含有で融点が低くなる 溶けやすく使いやすいバター
- ・融点が低いためパイ生地には向かない
- ・冬以外は放牧 牧草由来のオメガ3
- ・冬季は畜舎内でアマニ飼料 年間を通じて $\omega$ 3の成分を維持する
- ・各種チーズ・バターを製造販売
- ・おいしいチーズのためには良い原料、よい職人、よい熟成師が必要
- ・生乳を使うことが個性を出す要因
- ・衛生に特に気を遣う
- ・手作りなので全く同じものは作れないが、大事なのは同じことではなくおいしいこと

14:00-

会場視察

夕方、会場から宿舎へ移動

晩はパリ市内、泗水出身の日本人シェフのレストランへ

3月3日

9:00-

パリの最古の百貨店、ボンマルシェの食品売り場を視察

- ・精肉店はBBCの牛肉を扱う

- ・パックとは別にパーツに分けた状態の枝肉がショーケースに保管してある
- ・精肉とは別にハム・サラミなど加工品の売り場も広い
- ・鶏卵売り場はあまり広くない
- ・ヨーグルトやチーズなど乳製品は広い売り場、充実した品ぞろえ

他、各スーパー食品売り場視察

12:00-

ホテル発、空港へ

フランス出国

3月4日

日本時間 18:30

熊本空港着

セミナーの様子



BBC ブリス 左はキッチンが設置された実演スペース  
右はセミナースペース  
牛の展示はオブラック種。

会場の様子 他にも5ヶ所 食品や馬古物の会場がある。



加熱した時のフリッポの様子。左がBBCの肉。肉汁が逃げにくい  
つ打。細胞がこわれにくい。

# 旅行代金内訳書 (海外受注型企画旅行用)

**パターン⑤**

観光庁長官登録旅行業1847号  
 (社)日本旅行業協会正会員  
 株式会社 阪急交通社  
 法人団体営業本部熊本団体営業所

緒方 克也 様

所在地: 熊本市中央区花畑町12-28  
 アベックスビル6階

総合旅行業務取扱管理者: 清水 博明  
 外務員(担当者)氏名: 佐々木 優

2018年 2月 13日 作成の別紙企画書面による旅行代金の内訳については、  
 下記の通りでございます。

責任者	担当者

団体名	くまもと支援産業財団様 平成29年度 フランスビジネスミッション	フランス	方面
算出人数	大人 1名様 / 小人 名様 / 幼児 名様	合計	1名様
旅行期間	2018年 2月 28日(水) ~ 2018年 3月 4日(日) 5日間		

項目	適用	お一人様あたり 旅行代金(円)	人数 台数	合計旅行代金(円)
航空運賃	エールフランス航空 熊本~パリ間(往復)	208,000	1	208,000
諸経費	燃油サーチャージ、航空券特別保険料	21,600	1	21,600
"	羽田空港施設使用料	3,250	1	3,250
"	フランス空港税	7,240	1	7,240
宿泊料金	2/28泊 パリ ツイン利用(室料の半額+朝食代を表示)	4,900	1	4,900
"	3/01泊 パリ ツイン利用(室料の半額+朝食代を表示)	4,900	1	4,900
"	3/02泊 パリ ツイン利用(室料の半額+朝食代を表示)	4,900	1	4,900
				0
				0
				0
ご案内:				
①昨年提出見積額の燃油サーチャージが7,000円(2月発見適用レート)値上りしております。				
②フランス滞在税(ホテル)は現地払いになります。				
1泊につき、パリ:EUR1.65 デイジョン:EUR1.50~2.00				
小計				254,790
企画料金	上記小計旅行代金の20%迄	4,320	1	4,320
ツアー特別価格	差引額	-6,110	1	-6,110
旅行代金合計(A)				253,000
その他費用				0
				0
				0
その他費用合計(B)				0
お預かり金額(A)+(B)				253,000
お一人様当り				253,000

\* 上記見積書の内訳は、企画旅行契約に基づく当社の販売価格(弊社・サービス料、諸経費等含)です。

2018年 2月 13日

# 旅行代金内訳書 (海外受注型企画旅行用)



観光庁長官登録旅行業1847号  
 (社)日本旅行業協会正会員  
 株式会社 阪急交通社  
 法人団体営業本部熊本団体営業所

所在地: 熊本市中央区花畑町12-28  
 アペックスビル6階

総合旅行業務取扱管理者: 清水 博明  
 外務員(担当者)氏名: 佐々木 優

**パターン⑥**

緒方 佑香 様

2018年 2月 13日 作成の別紙企画書面による旅行代金の内訳については、  
 下記の通りでございます。

責任者	担当者

団体名	くまもと支援産業財団様 平成29年度 フランスビジネスミッション	フランス	方面
算出人数	大人 1名様 / 小人 名様 / 幼児 名様	合計	1名様
旅行期間	2018年 2月 28日(水) ~ 2018年 3月 4日(日) 5日間		

項目	適用	お一人様あたり旅行代金(円)	人数台数	合計旅行代金(円)
航空運賃	エールフランス航空 羽田~パリ間(往復)	203,000	1	203,000
諸経費	燃油サーチャージ、航空券特別保険料	21,600	1	21,600
"	羽田空港施設使用料	3,250	1	3,250
"	フランス空港税	7,240	1	7,240
宿泊料金	2/28泊 パリ ツイン利用(室料の半額+朝食代を表示)	4,900	1	4,900
"	3/01泊 パリ ツイン利用(室料の半額+朝食代を表示)	4,900	1	4,900
"	3/02泊 パリ ツイン利用(室料の半額+朝食代を表示)	4,900	1	4,900
				0
				0
				0
ご案内:				0
①	昨年提出見積額の燃油サーチャージが7,000円(2月発見適用レート)値上りしております。			0
②	フランス滞在税(ホテル)は現地払いになります。			0
	1泊に付き、パリ:EUR1.65 ディジョン:EUR1.50~2.00			0
小計				249,790
企画料金	上記小計旅行代金の20%迄	4,320	1	4,320
ツアー特別価格差引額		-6,110	1	-6,110
旅行代金合計(A)				248,000
その他費用				0
				0
				0
その他費用合計(B)				0
お預かり金額(A)+(B)				248,000
お一人様当り				248,000

\*上記見積書の内訳は、企画旅行契約に基づく当社の販売価格(弊社・サービス料、諸経費等含)です。

# 旅行代金内訳書 (海外受注型企画旅行用)

**パターン④**

恵濃 崇宏 様

観光庁長官登録旅行業1847号  
 (社)日本旅行業協会正会員  
 株式会社 阪急交通社  
 法人団体営業本部熊本団体営業所

所在地: 熊本市中央区花畑町12-28  
 アベックスビル6階

総合旅行業務取扱管理者: 清水 博明  
 外務員(担当者)氏名: 佐々木 優

2018年 2月 13日 作成の別紙企画書面による旅行代金の内訳については、  
 下記の通りでございます。

責任者	担当者

団体名	くもと支援産業財団様 平成29年度 フランスビジネスミッション	フランス	方面
算出人数	大人 1名様 / 小人 名様 / 幼児 名様	合計	1名様
旅行期間	2018年 2月 28日(水) ~ 2018年 3月 4日(日) 5日間		

項目	適用	お一人様あたり 旅行代金(円)	人数 台数	合計旅行代金(円)
航空運賃	エールフランス航空 熊本~パリ間(往復)	208,000	1	208,000
諸経費	燃油サーチャージ、航空券特別保険料	21,600	1	21,600
"	羽田空港施設使用料	3,250	1	3,250
"	フランス空港税	7,240	1	7,240
宿泊料金	2/28泊 パリ シングル利用	9,800	1	9,800
"	3/01泊 パリ シングル利用	9,800	1	9,800
"	3/02泊 パリ シングル利用	9,800	1	9,800
				0
				0
				0
ご案内:				0
①昨年提出見積額の燃油サーチャージが7,000円(2月発見適用レート) 値上りしております。				0
②フランス滞在税(ホテル)は現地払いになります。 1泊につき、パリ:EUR1.65 デイジョン:EUR1.50~2.00				0
小計				269,490
企画料金	上記小計旅行代金の20%迄	4,320	1	4,320
ツアー特別価格	差引額	-10,810	1	-10,810
旅行代金合計(A)				263,000
その他費用				0
				0
				0
その他費用合計(B)				0
お預かり金額(A)+(B)				263,000
お一人様当り				263,000

\* 上記見積書の内訳は、企画旅行契約に基づく当社の販売価格(弊社・サービス料、諸経費等含)です。

### 補助内容 個別表

申請者氏名	オガタ カツヤ 緒方 克也			受付番号	—
住所・電話番号				補助該当	第 2 条 第 1 号
研修名	平成29年度 九州－フランス食品ビジネスミッション				
期 日	平成30年2月28日～3月4日				
場 所	フランス パリ				
内 容	パリの企業との商談、パリ農業国際見本市の視察を行うことで、畜産技術・ブランディングなどを学び、合志市の畜産事業の発展につなげるもの。				
研修費用	費 目	備 考	経費	うち補助対象経費	うち自己負担額
	旅費	渡航費	208,000	208,000	208,000
		ホテル代	14,700	14,700	14,700
	計		222,700円	222,700円	222,700円
補 助 率	合志市ふるさと創生基金条例施行規則第6条第1号 対象経費の2分の1以内の額とし、且つ研修については、1人10万円以内の額とする。				
補助額の計算	222,700円/2=111,350円			補助金額	100,000円
備 考					

### 補助内容 個別表

申請者氏名	オガタ ユウカ 緒方 佑香			受付番号	—
住所・電話番号				補助該当	第 2 条 第 1 号
研修名	平成29年度 九州－フランス食品ビジネスミッション				
期 日	平成30年2月28日～3月4日				
場 所	フランス パリ				
内 容	パリの企業との商談、パリ農業国際見本市の視察を行うことで、畜産技術・ブランディングなどを学び、合志市の畜産事業の発展につなげるもの。				
研修費用	費 目	備 考	経費	うち補助対象経費	うち自己負担額
	旅費	渡航費 ホテル代	203,000 14,700	203,000 14,700	203,000 14,700
	計		217,700円	217,700円	217,700円
補 助 率	合志市ふるさと創生基金条例施行規則第6条第1号 対象経費の2分の1以内の額とし、且つ研修については、1人10万円以内の額とする。				
補助額の計算	217,700円/2=108,850円			補助金額	100,000円
備 考					

### 補助内容 個別表

申請者氏名	エノウ 恵濃 <small>タカヒロ</small> 崇宏	受付番号	—		
住所・電話番号		補助該当	第 2 条 第 1 号		
研修名	平成29年度 九州－フランス食品ビジネスミッション				
期 日	平成30年2月28日～3月4日				
場 所	フランス パリ				
内 容	パリの企業との商談、パリ農業国際見本市の視察を行うことで、畜産技術・ブランディングなどを学び、合志市の畜産事業の発展につなげるもの。				
研修費用	費 目	備 考	経 費	うち補助対 象経費	うち自己負担額
	旅費	渡航費	208,000	208,000	208,000
		ホテル代	29,400	29,400	29,400
	計		237,400円	237,400円	237,400円
補 助 率	合志市ふるさと創生基金条例施行規則第6条第1号 対象経費の2分の1以内の額とし、且つ研修については、1人10万円以内の額とする。				
補助額の計算	237,400円/2=118,700円			補助金額	100,000円
備 考					



# ロイヤル・ウィンターフェア視察と 米国・カナダ酪農視察研修 7日間



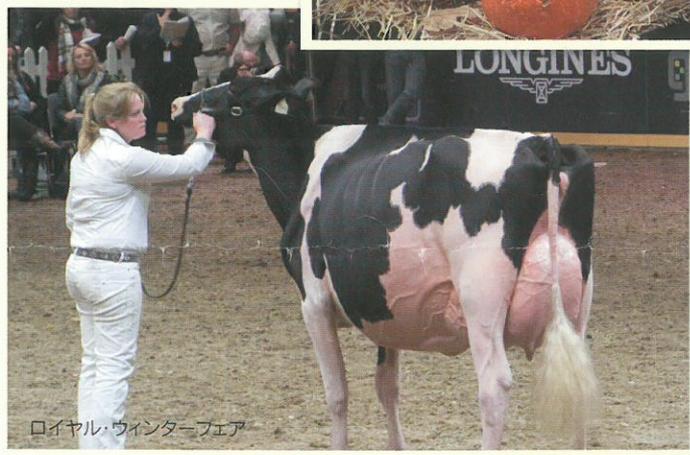
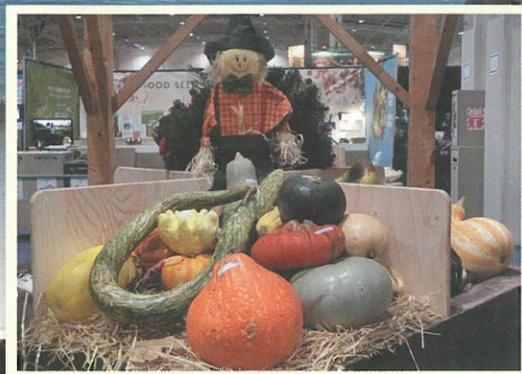
ナイアガラ

## 旅行期間

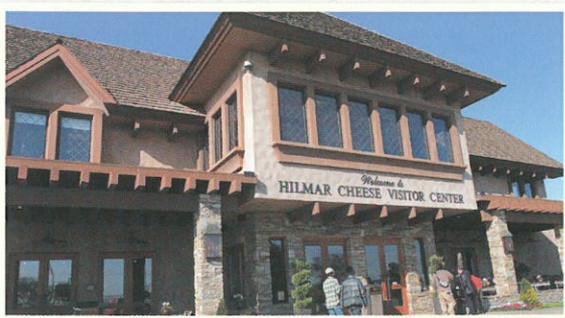
2017年11月8日(水)~14日(火)

※ロイヤル・ウィンターフェアの日程が未発表のため出発日など変更になる可能性があります。

米国の酪農事情やカナダの大型牧場を知る絶好の機会。  
ナイアガラの滝や、サンフランシスコも訪れます。



ロイヤル・ウィンターフェア



ヒルマーチーズ工場

企画・監修

一般社団法人 **全国酪農協会**

旅行企画  
実施



※掲載写真はすべてイメージです。

※撮影時のアングル、天候などの諸条件により、実際とは異なる場合があります。



ロイヤル・ウィンターフェア

# ロイヤル・ウィンターフェア視察と 米国・カナダ酪農視察研修 7日間



カナダのトロントで開催される世界最大の酪農農業博覧会「ロイヤル・ウィンターフェア」を視察。カナダと北米全域から集められた様々な農産物の展示、品評会や競売が行われ、ドッグショーや馬術競技、ロデオ等動物による競技も行われています。その中で行われるナショナルホルスタイン・チャンピオンショーを視察します。また、サンフランシスコにあるチーズ工場も訪れます。この機会に是非、米国・カナダの酪農をご覧ください。

旅行  
代金

## 408,000円 (お一人様)

一人部屋追加代金: 78,000円

\*左記旅行代金の他に燃油サーチャージ: ¥7,000、成田空港施設使用料(航空保険料含): ¥2,610、現地空港税: ¥10,310、渡航手続き手数料 ¥4,320、合計目安約 ¥24,240が別途必要になります。(2017年2月17日現在) その他米国・カナダの電子渡航認証システム実費: 米国1,680円、カナダ630円、代行取得手数料各 ¥2,160(希望者のみ)が必要となります。

旅行期間 11月8日(水)～14日(火) 7日間

※ロイヤル・ウィンターフェアの日程が未発表のため出発日など変更になる可能性があります。

食事条件 朝食5回、昼食2回、夕食4回

発着地 成田空港発・羽田空港着

最少催行人員 20名

参加申込締切日 2017年  
9月20日(水)

添乗員及び全酪協の世話役が  
同行致します。



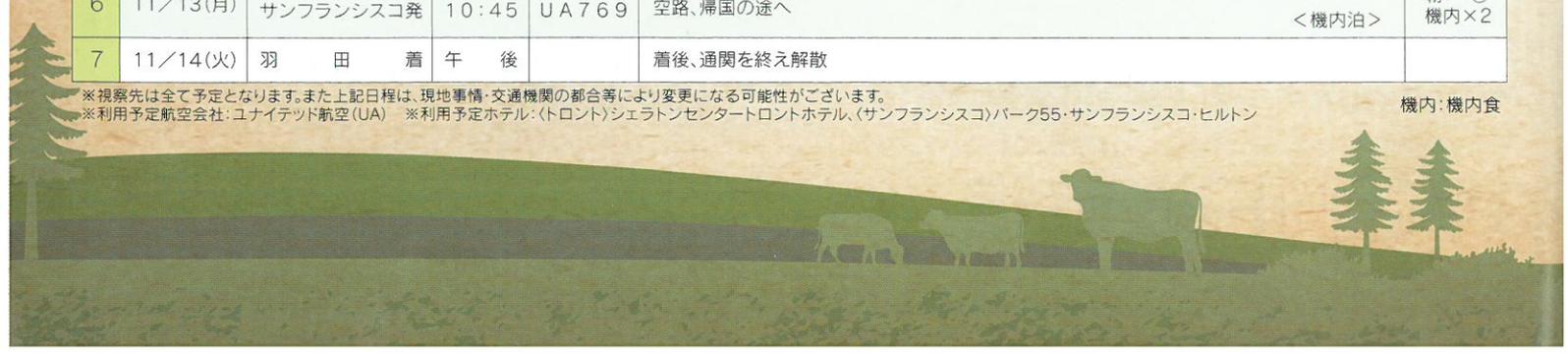
サンフランシスコ ケーブルカー

日程	月日	都市名	現地時間	交通機関	スケジュール	食事
1	2017 11/8(水)	成田発 シカゴ着 シカゴ発 トロント着	18:25 15:10 17:30 20:13	UA882 UA843	空路、トロントへ(米国国内乗継) 一日付変更線通過— 着後、ホテルへ <トロント泊>	機内×2 夕: ○
2	11/9(木)	ナイアガラ トロント	午前 午後 夕方	専用バス	ナイアガラ観光 酪農家訪問 視察後、ホテルへ 途中、トロント市内(CNタワー等)観光 <トロント泊>	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
3	11/10(金)	トロント	終日	専用バス	ロイヤル・ウィンターフェア2017視察 (チャンピオンパレード) <トロント泊>	朝: ○ 昼: × 夕: ○
4	11/11(土)	トロント発 シカゴ着 シカゴ発 サンフランシスコ着	午前 午後 午後 夕方	専用バス 航空機 航空機 専用バス	ホテルから空港へ 空路、サンフランシスコへ(米国国内乗継) サンフランシスコ市内観光(フィッシャーマンズワース、ゴールデンゲートブリッジ等) 観光後、ホテルへ 全酪連サンフランシスコ所長による講演 <サンフランシスコ泊>	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
5	11/12(日)	サンフランシスコ	午前 午後	専用バス	ヒルマーチーズ工場視察 自由行動 <サンフランシスコ泊>	朝: ○ 昼: × 夕: ×
6	11/13(月)	サンフランシスコ発	朝 10:45	専用バス UA769	専用バスにて空港へ 空路、帰国の途へ <機内泊>	朝: ○ 機内×2
7	11/14(火)	羽田着	午後		着後、通関を終え解散	

※視察先は全て予定となります。また上記日程は、現地事情・交通機関の都合等により変更になる可能性があります。

※利用予定航空会社: ユナイテッド航空(UA) ※利用予定ホテル: (トロント) シェルトンセントラルトロントホテル、(サンフランシスコ) パーク55・サンフランシスコ・ヒルトン

機内: 機内食



視察先のご案内(すべて予定)



カナダ

・オンタリオ州にある、大規模経営で最新の設備を誇り、2002年にマスターブリーダーにも推奨されている「サミット・ホルム牧場」を視察。



アメリカ

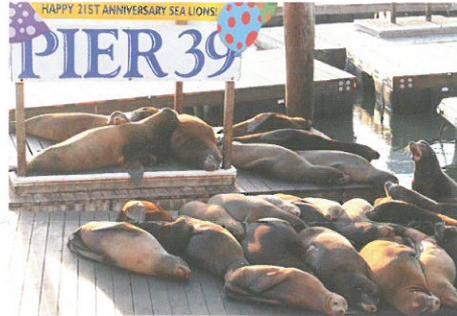
・世界最大の「ヒルマーチーズ工場」を視察。1914年スイスからの移民により創設された工場。ここで生産されたチーズは全米で販売されており、酪農教育にも力を入れている。



・全酪連・サンフランシスコ所長による、米国の酪農事情についての講演。



ヒルマーチーズ工場



フィッシャーマンズワーフ



トロント:サミットフォルム牧場

ご旅行条件(要約) お申し込みの際には、必ず旅行条件書(全文)をお受け取りいただき、事前に内容をご確認の上お申し込みください。

【募集型企画旅行契約】

●この旅行は、日通旅行株式会社(東京都千代田区大手町1-6-1、観光庁長官登録旅行業第1937号)(以下「当社」といいます)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。

●募集型企画旅行契約の内容・条件は、当パンフレットによるほか、別途お渡しする海外募集型企画旅行条件書、確定書面(最終日程表)及び当社の旅行業約款(募集型企画旅行契約の部)によります。

【旅行代金に含まれるもの】

- 旅行日程に明示した利用交通機関の運賃・料金(運送機関の課す付加運賃・料金は含みません)、バス料金、観光料金(バス料金、ガイド料金、入場料)
- 旅行日程に明示した宿泊料金及び税、サービス料(バス・トイレ付き2人部屋に2人ずつの宿泊を基準とします)(バスタブのない部屋になる場合もございます。)
- 旅行日程に明示した食料料金(機内食を除く)
- 手荷物運搬料金(原則としてお1人様1個。但し、利用航空会社の規定重量、容積、個数の範囲内)
- 団体行動に必要な心付
- 添乗員付コースの場合の添乗員同行費用

【旅行代金に含まれないもの】

- 旅券印紙代証紙代(11,000円~16,000円)
- 査証料、予防接種料金、旅行保険料
- 電子渡航認証システム実費 米国1,680円、カナダ630円
- 渡航手続き取扱料金(お客様ご自身が作成、申請された場合は不要です)
  - ① 出入国記録書その他を当社で作成したとき ..... 4,320円
  - ② 旅券申請書を作成代行したとき ..... 3,780円
  - ③ 査証申請書類を当社で作成・取得したとき(1カ国につき) ..... 4,320円
  - ④ 電子渡航認証システムを登録代行したとき ..... 2,160円
- 超過手荷物料金
- 飲み物代、クリーニング代、電報電話料、ホテルのボーイ、メイド等に対する心付。追加飲食代その他個人的性質の諸費用及びそれに伴う税金、サービス料
- お1人部屋を利用される場合の追加料金
- 日本国内の空港施設使用料
- 日本国内における自宅から発着空港(または集合/解散場所)までの交通費、宿泊料
- 希望者のみ参加するオプションツアーの旅行代金
- 旅行日程中の空港税
- 運送機関の課す付加運賃・料金
- お客様の傷害・疾病に対する医療費

【旅行契約内容・代金の変更】

●当社は旅行契約の内容を変更し、旅行代金を変更することがあります。詳しくは「条件書」によります。

【取消料】

- お客様はいつでも下記の取消料を支払って旅行契約を解除することができます。
- 当社の責任とならないローン、渡航手続きの事由によるお取消の場合も下記取消料をいただきます。
  - ① 「特定日(ピーク時)」(4/27~5/6、7/20~8/31、12/20~1/7)に開始する旅行
  - ② 「特定日(ピーク時)以外」に開始する旅行

取消日(契約解除日)	①旅行開始日が特定日の場合	②旅行開始日が特定日以外の場合
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日迄	旅行代金の10% (5万円を上限)	無料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降3日目に当たる日迄	旅行代金の20%	
旅行開始日の前々日、前日及び旅行開始日当日	旅行代金の50%	
無連絡不参加又は旅行開始後	旅行代金の100%	

【当社の責任】

- 当社は当社又は手配代行者がお客様に損害を与えた時は、損害を賠償致します。
- お荷物に関する賠償限度額は当社の故意または重過失による場合を除きお1人15万円までとし、損害発生の日から起算して21日以内に通知された場合に限りです。
- その他は「条件書」によります。

【特別補償】

- 当社は責任の有無にかかわらず、お客様が当旅行中、急激かつ偶然な外来の事故により生命、身体または手荷物に被った一定の損害について補償金及び見舞金を支払います。詳しくは「条件書」によります。

【旅程保証】

- 旅行日程に重要な変更が行われた場合には、当社はその変更の内容に応じて変更補償金を支払います。詳しくは「条件書」によります。

【お客様の責任】

- 当社はおお客様の故意又は過失、法令もしくは公序良俗に反する行為により当社が損害を被った時はお客様から損害の賠償を申し受けます。

【最少催行人員】

- 日程表に記載。これに満たない場合、旅行の実施を中止することがあります。但し、この場合旅行開始日の前日から起算してさかのぼって23日目(ピーク時発旅行の場合は33日目)にあたる日より前に通知致します。

【現地手配代行者との連絡方法】

- 添乗員が同行しない場合の現地での手配代行者との連絡方法は、最終日程表に明示します。

【最終日程表の交付時期】

- 確定した主な運送機関名及び宿泊ホテル名が記載された最終日程表は、旅行開始日の前日までに交付します。但し、旅行開始日の7日前以降にお申込みいただいた場合は旅行開始日当日に交付することがあります。なお、期日前であってもお問い合わせいただければ手配状況についてご説明致します。

【個人情報の取り扱いについて】

- 当社及び下記「販売店」欄記入の受託販売店は、旅行申込の際にお申込書にご記入いただきましたお客様の個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申込いただいた旅行の手配において必要な範囲内で運送・宿泊機関等及び手配代行者に提供させていただきます。

【旅行条件・旅行代金の基準日】

- この旅行条件は、下記の日付を基準としています。  
2017年2月17日

# 事業計画書

後藤 みどり

1. 事業名 『ロイヤル・ウィンターフェアと米国・カナダ酪農視察研修 7日間』
2. 期間 2017.11.8(木)～14(水)
3. 内容
  - 〈初日〉熊本からカナダ（トロント）へ移動
  - 〈2日目〉サミット・ホルム牧場を訪問し、視察研修。  
サミット・ホルム牧場の概要は別紙記載  
別紙にありますようにサミット・ホルム牧場は日本の平均的な牧場に比べ、大規模経営でありながら長命連産の牧場であり高い収益性を備えた牧場である。実際に訪れ、牛と経営者、従業員の様子、経営において何に重きを置いているのかをこの目で確かめてきたい。  
我が家や熊本県の酪農に取り入れられることが出来るのであれば、その手腕を持ち帰りたい。
  - 〈3日目〉ロイヤル・ウィンターフェア視察研修  
世界最高峰の牛の品評会を訪れ、日本とカナダの牛のレベルを間近で比べてみたい。また品評会だけではなく、品評会周辺の催し物（牛について子供たちにわかりやすくレクチャーする時間、来場者を楽しませるイベント等）を見学し、日本の品評会に無いものを知り、一般消費者が酪農のみならず、農業を身近に感じられるよう努力する手法を学びたい。
  - 〈4日目〉カナダからアメリカ（サンフランシスコ）へ移動
  - 〈5日目〉ヒルマー・チーズ工場視察研修  
アメリカのチーズ生産のトップと聞くヒルマー。どのような経緯で工場が建てられ、アメリカのチーズシェアがあるのかを知りたい。また、周辺に酪農家があるのであれば、その様子も見れるのではないかと期待をしている。
  - 〈6・7日目〉アメリカから日本へ帰国のため移動
4. 参加者予定名簿
  - 前田 匡彦（栃木県・学校法人自由学園那須農場長）
  - 高橋 駿汰（宮城県・高橋牧場）
  - 安富 由美子（岡山県・(有)安富牧場）
  - 松永 毅（山口県・松永牧場）他 15名程度



サミットホルム牧場では高い生涯生産日量を考慮して繁殖し、カウコンフォートと適切な牛群管理は常に優先事項だ。



### サミットホルム牧場 (カナダ)

所在地：オンタリオ州リンデン (トロントの西約1時間)  
所有者：ローヴィス家のカールとティフ兄弟、カールの息子ベン  
飼養頭数：経産牛490頭、未経産牛390頭  
平均能力：3回搾乳M13.943kg-F4.15%-P3.15%  
(生涯生産10万kg以上牛119頭輩出)  
平均分娩間隔：12.8カ月 (55%が3産以上)  
体型審査：E X-14頭、VG-136頭、GP-282頭  
現在の供用種雄牛：マニフォールド、プリューマスター、他に各種ゲノム種雄牛

TEXT: BERT WESSELDIJK

## 「生涯生産日量に 注目することが望ましい！」

—ティフ・ローヴィス

チエリは生涯乳量174,000kgの母サミットホルム・コツパー・クレシアを追っている。この牧場における脂肪量と蛋白質量の最高はサミットホルム・トレント・ケイトで、彼女は現在M158.198kg-F4.3%-P3.4%、11産で脂肪量と蛋白質の合計が12,231kgにもなっている。ケイトは10万kg超えのルドルフの娘から誕生している。また牛群内での自慢牛はサミットホルム・アシユラー・リーで、5乳期で10万kgを超え、現在6乳期の途中で116,628kgまできている。

### カウコンフォート

「幸運なことに私達はとても多くの自家産10万kg牛を持っている。生産のための高い遺伝的要素は重要だが、カウコンフォートは未だに最も重要な要因である」とローヴィスは言う。「粗悪な牛舎は牛にとって致命的で、直接的だけでなく間接的にも確実に影響する。もし、高齢牛がフタゴを身こ

もったり第四胃変位や他の病気になった時、カウコンフォートが最善でなければ彼女達は淘汰の宣告を受けしてしまう。彼女達が生き残ったとしても産せ過ぎて、妊娠が難しくなる」。ローヴィスによれば、砂のベッドの広々としたフリーストールは蹄浴や前蹄を通じた適切な蹄の管理を伴って、高い生涯生産性に大きく貢献している。「適切な前蹄は牛の寿命を延ばすことができる」。

### 生涯生産日量

現在サミットホルムにはキヤラクシー、エビツク、フツグム、カマロなどによる優れた若種雌牛がいる。「彼女達は高い生産力を持ち、良質な乳房、素晴らしい肢蹄、そして何よりも扱いやすい」とティフ。ここでの種雄牛選抜(証明済15%、ゲノム85%)にはネットメリット、収益\$,そしてCR1の搾乳専用向けインテックスなどの総合

指数が使われている。「私達はインテックスに非常に注目を置いている」と、新しい選抜手法である生涯生産日量を熱心に提案するローヴィスは言う。「酪農産業としてフィットネス特性にとても興味を持っているが、これは正しい。しかし、健康を測る最も良い指標は生涯生産日量で、これは直接測れるものだ。牛は健康で繁殖力、長命性に富んでいる時だけ高い平均日量を記録するものだ」。ローヴィスによると高齢の牛は繁殖においては多くの信頼がある。従ってより一層平均日量に注意を払うべきだと言う。「業界として私達は新しい特性を支持する必要がある。生涯生産日量25kgで125,000kgに到達した牛と日量35kgで125,000kgとでは収益性に関して大きな差がある」。この違いは飼代だとティフは述べ、これは利益に大きく影響する。「このような経済状況下で、能率的な牛とカウファミリーに気づくことはとても重要だ」。

「HOLSTEIN INTERNATIONAL」誌5月号から転載  
(H1誌との独占転載契約により掲載しております)

# サミットホルム牧場 10万kgの金字塔を119頭が達成！

多くの酪農家にとって生涯乳量10万kgの牛は稀であり夢でもある。しかし、この金字塔を普通に達成している牧場がある。カナダ、サミットホルム牧場のスコアボードは現在119だ。この素晴らしい業績は牛群管理とカウコンフォートに重点を置いた結果であり、フィットネス特性、機能的な体型や高い生涯生産日量を念頭に貫いた育種改良を行ってきた成果である。

「私達は生産性が高く、機能的な体型になるよう交配し、遺伝的な着床能力を十分に発揮できるような機会を提供している。これはデイク・ローヴィスが極めて簡単にサミットホルム牧場の素晴らしい成果の秘訣を説明したものだ。交配と崇高な管理に焦点を置いたことにより、オンタリオ州南部リンデンにあるこの牧場は生涯生産乳量10万kg超の牛を119頭輩出した。これは世界的に偉大な業績だ。」

## 管理

デイクの両親は1938年にチェコ共和国からカナダに渡り、47年にサミットホルムを開設した。現在この牧場はデイクと兄弟のカール、カールの息子ベンガ運営している。彼らはローラ・シュルマンとマーク・ウィナンドの助けを借りて490頭の軽産牛、390頭の未経産牛を管理している。搾乳牛は高い生涯生産力に加え牛群平均が14,000kgに近いというから驚く。更にこの生産レベルにありながら分娩間隔は13カ月に満たず、55%の搾乳牛が3産以上だ。2002年サミットホルムは「マスターフリーダー」に選択されたし、16年にはカナダのフリース

トール飼養部門で第2位の管理能力を示した。

## “あとは重要ではない”

「いつも生産性優先で交配をしている。これまでに素晴らしい成果のあった種雄牛はエアロスター、ルドルフ、最近ではマニフールドだ」とデイク。「私達はオーマンの息牛を広く使っているが、クライマーとマニフールドがベストだ。因みに今でもマニフールドを使っているよ。彼の娘達は平均的な体高であり、分娩が容易、ボディコンディションを常に良く保ち、次の妊娠がスムーズだ。そして驚くほどの生産をする」。この素晴らしい牛の代表格はサミットホルム・マニフールド・シヨアナで、初産1才11カ月に始まり5才10カ月で5産した。加えて彼女は82,624kgの乳量を5乳期で達成したのだ。

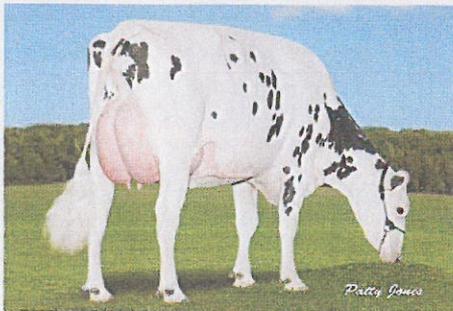
「最近の選抜基準は脂肪量と蛋白質量、未経産分娩難易度、娘牛繁殖性、体細胞数と機能的な体型である」と、サミットホルムでは決定得点だけに拘った交配はしないと説明する。デイクは続けて「私達にとって利益は充分にある。真っ直ぐに長く歩行

## 10万kg牛を多く輩出した農場

私達知る限り10万kgの牛を100頭輩出したのは北米ではサミットホルム牧場のみ。ヨーロッパではイギリスのマン島にあるサンダー牧場。ドイツではLLFG（農業・林業・園芸研究農場）が合計92頭輩出。ここでは今年100頭目の10万kg突破牛を祝つたろう。下記に10万kg突破牛輩出の多い牧場を列記したが、もし他にいたらH1誌にご連絡ください！

サミットホルム牧場（カナダ）	119
サンダー牧場（イギリス）	107
LLFG・iden（ドイツ）	92
ロジーレーン牧場（アメリカ）	83
ザニ牧場（イタリア）	78
クノーフ牧場（オランダ）	66
ケラークレスト牧場（アメリカ）	66

ができ、強い中央懸垂韧带を持ち、そして頑強な腰なら、あとは大して重要ではない。搾乳専用牛の理想は平均的な体高で、強い肢節、そして強く質の良い乳房を備えているものと言うのが私達の見解だ。若い年齢の姿を見て、どのような牛が10万kgを達成するかについて、ローヴィスは完全な答えを持っていない。彼によれば原則として全ての若雌牛はこのような高い生涯生産を發揮する可能性を持っているのだ。「私達の10万kg牛を見る限り、再び妊娠し健康上の問題がないという理由以外に類似点はない」とデイク。究極の例はサミットホルム・タウソン・チエリで、2006年10月18日に1才10カ月で初産分娩し、11産目は2016年11月27日だった。彼女の能力は生涯生産日量37kgという見事なもので、現在M168,116kg-F3.5%-P3.2%まで数字を伸ばしている



サミットホルム・シンバタイコ・トルネードは牛群で最高の若種雌牛で、生涯乳量140,000kgのサミットホルム・ルドルフ・トリクシーの5代目である。トルネードは初産305日でM13,670kg。

# 視察研修報告書

後藤 みどり

11月9日〈2日目〉 サミット・ホルム牧場視察研修

私たちツアーの対応をしてくれたのは、経営者家族の一人、ベンでした。彼は父親と叔父さんに次いで牧場でNo.3の立場であり、年齢も若いことから父親世代と息子の経営方針の違いを面白く話しながら場内を案内してくれました。

私が知りたかった第一の質問は

「改良はどこに重きを置いているか？」ということでした。

個体はシンプルで、「乳量」との事。

足蹄や連産などの項目はあまり重要ではないと。乳量の項目さえ見れば産まれてくるであろう子牛の強権性、連産は備わっていると言ってくれた。

今後我が家での交配計画を考えるうえで、容易に参考になる情報だ。

また、従業員を雇う上でこの地が大変雇用に恵まれていること（都市部に近い）、子牛の育成を任せれる従業員がおり、その従業員のおかげでよい牛が育っていることを教えてくれた。

大規模であっても、質の良い牛乳が搾れ、経営が回るのは結局、『人』ということは日本も海外も同じであると改めて気づかされた。



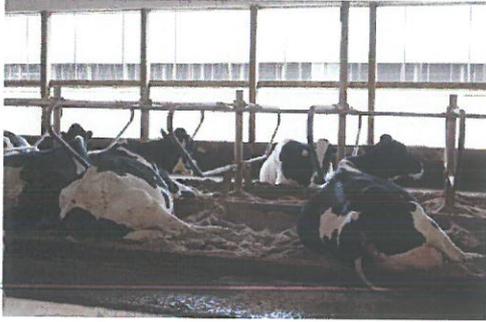
搾乳牛 420 頭、一日 3 回搾乳

日量平均 42 kg/頭

パート・従業員数 14 名



鳥が牛舎内を汚さないように設計された牛舎



搾乳後、お腹いっぱい餌を食べた牛は、リラックスして、砂がひかれたストール内で横臥する。砂には雑菌が繁殖しづらいので、乳房炎予防にもなるし、敷料の値段が安いので使っているそう。



長命連の必須条件は、乳房の底面が高いこと。この牧場の牛たちは正にその通りの牛たちだった。

#### 11月10日〈3日目〉 ロイヤル・ウィンターフェア視察研修

酪農家だったら一度は訪れてみたい品評会の一つ、ロイヤル。世界最高峰の品評会は日本の全国大会のレベルと大差はないように感じた。以前私自身も品評会に出場することは大変楽しみでしたが、近年では品評会の意義について疑問を持ち始め、Showからは遠ざかっています。

ですが、今回ロイヤルを見ることが出来ることは、私に別の課題を与えてくれました。それは、日本では「ノウギョウ」という分野が一般の方からはとても遠い存在であること、食に直結するはずのノウギョウが軽んじられていると言わざる負えない現状をどうにか改善したいとの思いで日々の営農をやっています。

海外では一次産業こそ、国の根幹ということで大変尊敬されていると聞きます。

今回のフェアにはその要素がたくさん盛り込まれていました。

まずはその規模。

ロイヤルは一週間にわたって行われる Show とそれに付帯した様々な催し物で農業者のみならず、一般の方が1日中、十分に楽しめるイベントになっているということ。そして、楽しむばかりでなく、学びの場も提供し小さい子供のころから農業、農産物、それにかかわる産業（機械・設備・小売り）を一か所の場所で見ることが出来ることです。

もちろん、一日中楽しめるようにフードコートも充実しており食の祭典と言ってもいい位様々な地域の料理が楽しめます。ショッピングも一日中見て回っても飽きません。

日本では防疫の観点から動物が一か所に集まるところに、不特定多数の人間が来るのを良しとしていません。しかしながら今回の Show を見る限り、オープンな会場で全世界からお客さんが来られているのを見ると、日本は遅れていると言わざるおえません。叶うことなら、日本でも1週間以上のアグリフェアを開催し、農業者ではなく、一般の方がターゲットとなるようなお祭りを行うことが必要なのではないかと考えま

した。

その中には、「教育」の要素を含むべきだと思います。

今回のフェアは小さいうちから農業に触れる機会をより多く与えているというところで、これまでの私の活動を肯定しているようで自信が付きました。



お客さんでいっぱいのお客 Show



Show のバックヤードにはだれでも立ち入ることが出来、牛の管理を間近で見れるのも面白い。



羊の品評会の模様



刈り取った羊の毛の品評会



スポットライトを浴びながら入場する牛

## 11月12日〈5日目〉 ヒルマーチーズ工場視察研修

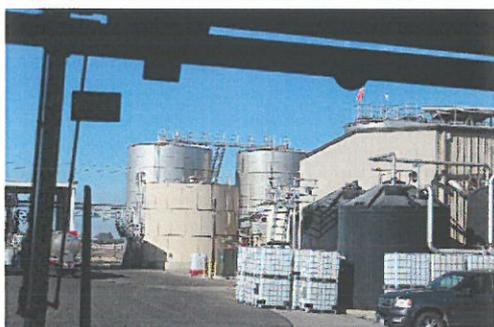
1984年に12戸の酪農家が出資して設立された工場。現在では200戸の農家から牛乳が集められ(90%がジャージー種)、様々な種類のチーズが作られている。全米シェアナンバーワン。そのほとんどがプライベートブランドや外食業界の材料として取り扱われているため、『ヒルマーチーズ』とラベルの付いた製品は、この工場直営のビジターセンターでしか買うことが出来ない。もしかすると、日本人も気づかないうちに食べているかもしれない。

ここでは車窓から工場見学を行い、ビジターセンターではガラス越しに工場内がみることが出来た。また、生乳からチーズが出来るまでの過程がしっかり展示され、様々な種類のチーズとクリスマスも近かったためクリスマスグッズ、イートインスペースでチーズケーキや軽食を提供していた。

ここでも一般の方が乳業に触れる機会があり、参考になった。



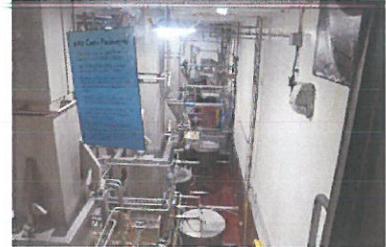
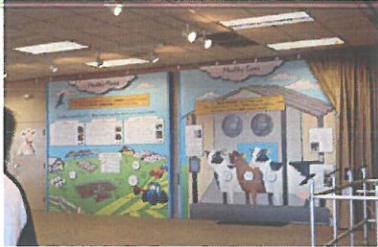
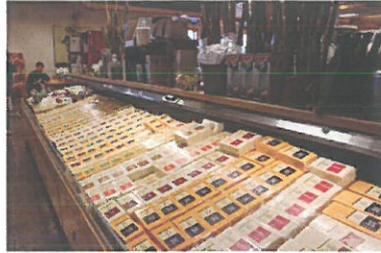
工場見学のスタートは巨大なタンクローリーがお出迎え。24時間体制で生乳農受け入れをしている。隣の検査室ですぐに検査が行われ、数分で受け入れが出来る。



別の建物では、チーズを作るうえでどうしても廃棄してしまうホエーを再利用し、洗浄用の水としてさいりようするシステムが稼働していた。水が決して豊富ではないサンフランシスコの水利用は徹底していた。

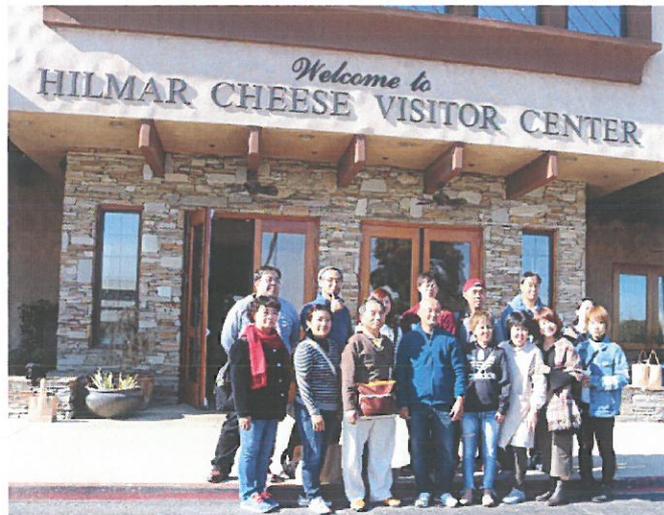


工場には生乳を一時貯蔵するタンクがいくつもあつた。それもそのはず、1100トンの生乳が毎日ここに運ばれてくるからだ。



ビジターセンター内部

### 参加者名簿



- 古澤 卓也氏 (酪農とちぎ農業協同組合・指導企画課)
- 前田 匡彦氏 (栃木県・学校法人自由学園那須農場長)
- 三浦 愛美氏 (福島県南酪農指導所・指導員)
- 上野 健人氏 (一般財団法人葛巻町開発公社・技師)
- 関氏 (関東・酪農家)
- 菅田 祥介氏 (おかやま酪農協同組合・獣医師)
- 岡田 恵子氏 (全国酪農組合連合会・職員)
- 関口ご夫妻 (茨城県・酪農家)
- 松永 毅氏 (山口県・酪農家)
- 長友氏 (宮崎県・酪農家)
- 後藤 恵子氏 (福島県・酪農家)
- 小笠原 美和親子 (愛知県・酪農家)

最後に

今回は大変貴重な時間を過ごさせていただき家族には感謝です。

家族に負担を強いてまで、今回の研修に行ったからには、まずは我が家の営農に今回の経験を活かすことが大事だと思います。例えば、長命連産が儲かる第一歩ですが、そのためにまず、乳量に注目した交配改良を心がけること。カウコンフォートの再確認を行います。

そして、『独り勝ちに未来はない』と全国大会でも発表したように、今回の経験を地域の酪農ばかりでなく、熊本県の酪農業、農業振興のために活動していきたいと考えています。例えば、今回の研修を会合などの場所で発表する、品評会の運営に携わることが出来ると思います。

新しいことばかりでなく、これまで私が活動してきたライフワークともいえるべき、子供達へ酪農を伝える活動をこれからも自信をもって続けていこうと思います。

29全酪青女発第52号  
平成29年8月4日

後藤 みどり 様

全国酪農青年女性会議



ロイヤル・ウィンターフェア視察と米国・カナダ酪農視察研修について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当会議の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度はご多忙中のところ「第46回全国酪農青年女性酪農発表大会」において発表いただきまして、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、全国各地の酪友並びに関係者約530名の参加の下、活気あふれる有意義な大会を開催することができ、また多くの成果をおさめることができました。改めまして深く感謝申し上げます。

早速で恐縮ではございますが、大会中にもご案内しておりました「ロイヤル・ウィンターフェア視察と米国・カナダ酪農視察研修7日間」につきまして、下記のとおりご連絡申し上げます。何かとお忙しい時期とは存じますが、またとない機会ですので、是非ご参加いただきますようご検討の程よろしくお願い申し上げます。

何かご不明な点等ございましたら、事務局までご連絡いただきますよう重ねてお願いいたします。

敬具

## 記

### 1. 参加申込み

(1) 必要書類 ①参加申込書…添付パンフレット裏面

②旅券（パスポート）のコピー

※ 旅券番号（写真）の記載されたページ

※ 有効期限が2018年2月11日以上のもの

(2) 送付先 〒151-0053

東京都渋谷区代々木1-36-4全理連ビル3階  
一般社団法人 全国酪農協会（担当：飯田）  
電話：03-3370-5341

(3) 締め切り 平成29年9月20日（水）

## 2. 経費負担

- (1) 国内移動旅費（ご自宅から羽田・成田空港までの往復旅費）および諸手数料（手続き手数料など）、追加オプション等は各自でご負担いただきます。
- (2) 海外渡航費用（408,000円）につきましては、費用の3分の1（136,000円）のご負担となります。

## 3. 報告書

視察終了後、2,000字程度の報告書（現地での写真数点と併せて）の提出をお願いしております。詳細につきましては、後日改めてご連絡いたします。

以上

### 事務局

全国酪農青年女性会議  
東京都港区芝4-17-5  
全酪連 指導・企画部  
Tel：03-5931-8003  
Fax：03-5931-8020  
担当：吉村・岡田

### 補助内容 個別表

申請者氏名	ゴトウ 後藤 みどり		受付番号	—
住 所・電話番号			補助該当	第 2 条 第 1 号
研 修 名	ロイヤルウインターフェア視察と米国・カナダ酪農視察			
期 日	平成29年11月8日～14日			
場 所	カナダ トロント アメリカ サンフランシスコ			
内 容	カナダ・トロントで開催される世界最大の酪農業博覧会「ロイヤルウインターフェア」の視察。 アメリカ・サンフランシスコのチーズ工場で、アメリカの酪農事情や大型牧場の経営を学ぶ。			
研修費用	費 目	備 考	経 費	うち自己負担額
	旅費	研修参加費	408,000	136,000
	計		408,000円	136,000円
補 助 率	合志市ふるさと創生基金条例施行規則第6条第1号 対象経費の2分の1以内の額とし、且つ研修については、1人10万円以内の額とする。			
補助額の計算	136,000円/2=68,000円		補助金額	68,000円
備 考				